

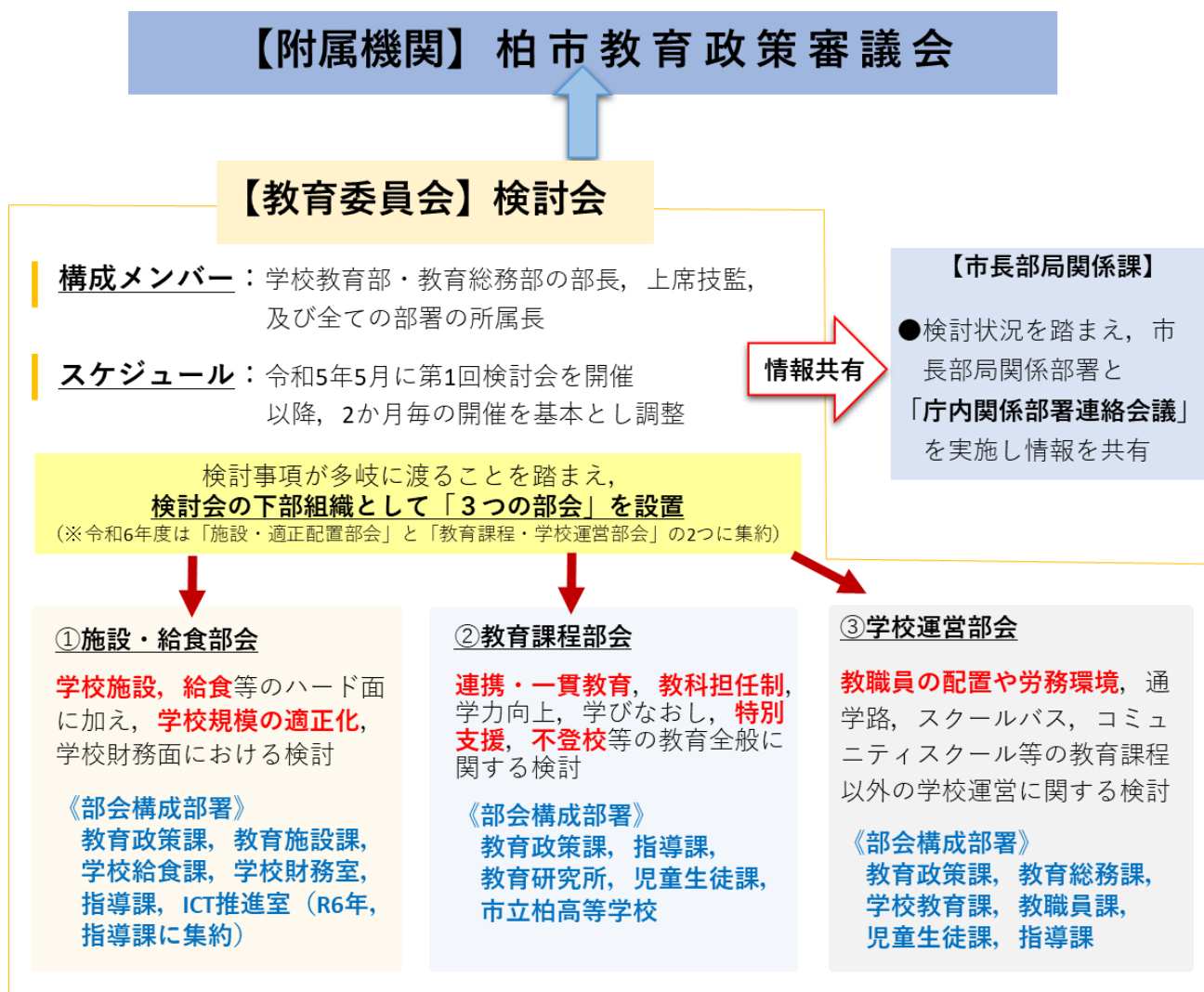
資料編

柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針 《資料編》

目次

1. 方針の策定体制	1
2. 検討の経過	2
(1) 柏市教育政策審議会	2
(2) パブリックコメント	8
3. 学校を取り巻く現状と課題（背景）	10
(1) 児童生徒数の推移と将来推計	10
①市全体の動向	
②7地域ごと、中学校区ごとの動向	
③学校別学級数の動向	
(2) 学校規模の現状と今後の見込み	22
①小学校	
②中学校	
(3) 学校施設の老朽化状況	24
①学校施設の概要	
②学校施設の整備費用	
③学校施設の維持管理コスト概要	
(4) 通学路の現状	30
①通学距離の現状	
②通学距離と通学時間の関係性	
(5) 教育上の課題について	32
①学校の規模により生じる変化	
②学区の不整合	
③不登校児童生徒への支援	
④子どもの居場所	
⑤いじめ	
⑥特別支援教育	
⑦教職員の多忙化	
⑧学力・学習状況	
⑨市立柏高等学校	
4. 教育環境に関するアンケート	52

1. 方針の策定体制



2. 検討の経過

(1) 柏市教育政策審議会

本方針は、本市教育委員会の附属機関である柏市教育政策審議会での審議を経て策定しました。

○審議経過

回	開催日	協議内容
第1回	令和5年 11月22日	●基本方針策定に関する諮問 ●児童生徒数の推移、学校規模の現状と見込み、各種教育上の課題
第2回	令和6年 1月23日	●学校施設の老朽化等、通学路の安全対策、各種教育上の課題 ●アンケートの実施について
第3回	令和6年 3月19日	●基本方針の構成、市が目指す子ども像・学校教育 ●アンケートの設問について
第4回	令和6年 5月30日	●学校規模・学校配置及び通学距離 ●アンケートの速報値報告
第5回	令和6年 7月16日	●市が目指す子ども像・学校教育 ●義務教育学校の視察（八千代市立阿蘇米本学園） ●各種教育上の課題への対応 ●アンケート結果報告
第6回	令和6年 9月4日	●各種教育上の課題への対応、基本方針（骨子案）の検討
第7回	令和6年 11月8日	●基本方針（答申第1案）の検討
第8回	令和6年 12月26日	●基本方針（答申第2案）の策定
第9回	令和7年 2月18日	●パブリックコメントの実施結果 ●基本方針（答申書案）の確認 ●答申

○審議会委員名簿 (◎：会長，○：副会長)

(令和7年2月18日現在)

番号	区分	氏名	職等
1	市立学校長	なかつ あつこ 中田 敦子	柏市立柏第三小学校長
2		いとう きみこ 伊藤 喜美子	柏市立風早南部小学校長
3		ふじさき ひであき 藤崎 英明	柏市立柏第三中学校長
4		かわもと とおる 川本 徹	柏市立中原中学校長
5		えんどう ひでひろ 遠藤 英宏	柏市立柏高等学校長
6	市立学校 関係者	すずき みちたか 鈴木 道貴	柏市PTA連絡協議会長
7		あおき まり 青木 真理	柏市PTA連絡協議会副会長
8		にゅうどう かずよ 入道 和代	柏市立逆井小学校運営協議会長
9		しょうじ きょうこ 少路 香子	柏市立酒井根中学校運営協議会委員
10	学識経験者	あまがさ しげる ◎天笠 茂	千葉大学名誉教授
11		てらもと たえこ ○寺本 妙子	開智国際大学教授
12	その他	かんだ あき 神田 亜紀	公募委員
13		さかもと めぐみ 坂本 恵美	公募委員
14		ふるはし ようこ 古橋 洋子	公募委員
15		あべ たかし 阿部 孝	柏市ふるさと協議会連合会長

※上記のほか、^{ひらのひでき}平野秀樹委員（令和5年度田中北小学校長）が令和6年3月31日まで委員を務めた。

(趣旨)

第 1 条 この規則は、柏市附属機関設置条例(平成 8 年柏市条例第 6 号)に基づき設置された柏市教育政策審議会(以下「審議会」という。)の組織、運営等に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員)

第 2 条 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 市立の小学校、中学校又は高等学校の校長
- (2) 市立の小学校、中学校又は高等学校の関係者
- (3) 学識経験者
- (4) その他教育委員会が必要と認める者

2 前項の規定により委嘱された次の各号に掲げる委員は、それぞれ当該各号に定めるときに委員の職を失う。

- (1) 前項第 1 号に該当する者として委嘱された委員 同号の職を離れたとき。
- (2) 前項第 2 号に該当する者として委嘱された委員 同号の関係者としての地位等を離れたとき。

(会長及び副会長)

第 3 条 審議会に会長及び副会長各 1 人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 4 条 審議会の会議(以下「会議」という。)は、必要に応じて会長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 前 2 項の規定にかかわらず、感染症のまん延の防止の必要その他のやむを得ない事情があると会長が認めるときは、委員に議事に係る意見を求め、その半数以上から意見書の提出があった場合に限り、会長の決定をもって会議の議決に代えることができる。

5 会長は、前項の規定による決定をしたときは、遅滞なく、当該決定について委員に報告しなければならない。

(関係者の出席等)

第 5 条 審議会は、必要に応じて委員以外の関係者に対し、会議への出席を求めてその意見を聴くこと又は資料の提出を求めることができる。

(審議会の運営等)

第 6 条 この規則で定めるもの及び次条の規定により教育委員会が別に定めるものを除くほか、審議会の議事及び運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

(補則)

第 7 条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

○諮問書及び答申書

①諮問書

柏教政第 3 0 9 号
令和 5 年 1 1 月 2 2 日

柏市教育政策審議会

会長 天 笠 茂 様

柏市教育委員会

「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」の策定について（諮問）

柏市立学校におけるより良い教育環境と教育の質の向上を目指し、「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」（以下、「基本方針」という。）の策定について諮問します。

記

1 背景

(1) 学校現場が抱える様々な教育課題

ア 学校に通うことができない又は通いづらさを感じてしまう児童生徒が著しく増加しています

イ 小学校から中学校への進学に際して、学習面、友人関係、部活動など新しい環境下での生活にうまく適応できないことにより、不登校等として表面化する、いわゆる「中 1 ギャップ」が発生しています

ウ 全国的に教員数が不足する中、教員の若年化が進み学校組織としての対応力に課題が生じています

エ 児童生徒一人ひとりの特性に合わせて指導を行う特別支援学級児童生徒が増加し、施設整備及び学校運営面で課題が生じています

オ 社会の形成者として身につけることが望ましい基礎的学力の習得を促進する必要があります

1
2
3
3(1)
3(2)
3(3)
3(4)
3(5)
4

カ 夏場の猛暑等，気象状況が変化する中，通学に際し長距離の移動を強いられる児童生徒がいます

キ 学校施設は，昭和 40 年代から 50 年代にかけて整備されたものが多く，建築から 30 年以上が経過した建物が全体の 8 割を超えており老朽化が進行しています

ク その他，グローバル化や I C T 環境の充実等，目まぐるしい速度で変化する現在の状況を踏まえた学校教育が求められています

(2) 将来にわたる児童生徒数の減少見込み

少子高齢化社会を迎え，本市における児童生徒の総数は将来にわたり減少することが見込まれ，それに伴い一定の集団規模を確保することが困難な小規模な学校の増加が見込まれます。

一方で市内には，鉄道沿線駅周辺の住宅開発等の影響により，児童生徒数が増加傾向にあり今後，必要な教室数が不足することが見込まれる学校もあり，地域により学校規模の不均衡が拡大することが懸念されます。

2 諮問理由

1 に記載された学校現場を取り巻く多種多様な課題の解消及び緩和に向けて，市立小学校，中学校，高等学校の将来におけるあり方について「誰一人取り残さずに多様な個人のウェルビーイングを実現する学校づくり」を進める必要があります。

そのため，基本方針では，地域及び学校ごとに，児童生徒数の推計，学校施設の整備状況，通学距離等の現状を整理し「見える化」しつつ，様々な教育課題の解消に資する対応の方向性を盛り込むことで，将来にわたり学校を管理及び運営する上での羅針盤とします。

以上のことから，柏市教育委員会は，貴審議会に対し，より良い教育環境の確保と教育の質の向上を図るため，基本方針の策定について諮問します。

3 基本方針を策定する期日

令和 7 年 3 月 3 1 日

②答申書

令和 7 年 2 月 1 8 日

柏市教育委員会

教育長 田 牧 徹 様

柏市教育政策審議会

会長 天 笠 茂

「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」の策定について（答申）

令和 5 年 1 1 月 2 2 日付け柏教政第 3 0 9 号で諮問のあった「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」の策定について，慎重に審議を重ねた結果，別紙のとおり答申します。

(2) パブリックコメント

本方針の策定にあたっては、広く市民からの意見を聴き参考とするため、意見公募手続（パブリックコメント）を実施しました。

①意見募集の概要

意見募集する政策等	柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針
政策等の案の公表日	令和6年12月28日（土）
意見提出期間	令和6年12月28日（土）から令和7年1月28日（火）まで
市民への周知方法	意見募集要項の配布（市内公共施設、ホームページ、教育政策課窓口）

②結果の概要

<提出方法別>

意見数（意見提出者数）	307件（167人）
インターネット	66人
ファクシミリ	13人
郵送	15人
直接持参	73人

<年齢層別>

29歳以下	0人
30～39歳	9人
40～49歳	11人
50～59歳	8人
60～69歳	25人
70～79歳	70人
80～89歳	30人
90歳以上	2人
不明	12人
計	167人

<意見構成別>

分類		意見数
本編	第1章 基本方針の概要	3件
	第2章 柏市が目指すこれからの学校教育	2件
	第3章 目指す学校教育の実現に向けた具体的な取組	184件
	第4章 基本方針の推進に向けて	4件
資料編		0件
別冊地域カルテ		0件
その他（体裁や文言の修正，本計画外に関すること）		114件
計		307件

③提出意見の内容

パブリックコメントで提出された意見の内容と，それに対する本市教育委員会の考え方は，次のとおりです。

＜総括表＞

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ反映したもの，または反映済みのもの	35 件
B	個別の事業・施策の推進に活用するもの	22 件
C	今後の検討のために参考とするもの， または，関係部門計画等への反映を検討するもの	152 件
D	その他（意見として聴取したもの）	98 件

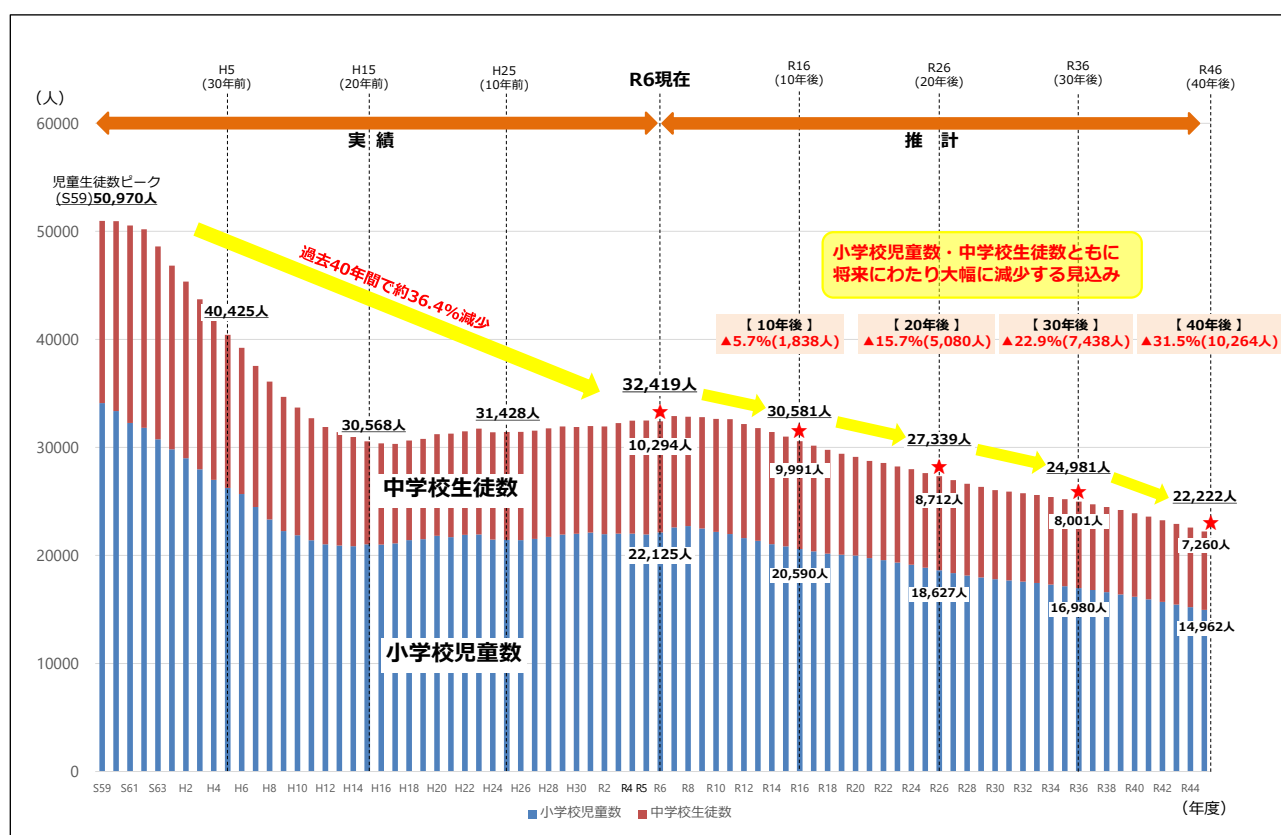
3 学校を取り巻く現状と課題（背景）

(1) 児童生徒数の推移と将来推計

①市全体の動向

本市の児童生徒数は、昭和59（1983）年度の5万970人をピークに減少しており、令和6（2024）年度は3万2,419人と、ピーク時から40年で約36.4%減少しています。今後数年間は横ばいで推移し、令和8（2026）年度以降再び減少に転じる予測となっており、今後10年で約5.7%減少、今後20年では約15.7%減少、40年後の令和46（2064）年度には現在の3分の2強（68.5%）にあたる2万2,222人まで児童生徒数が減少すると予測されています。

図表 資-1 児童生徒数の長期推計（柏市全体）



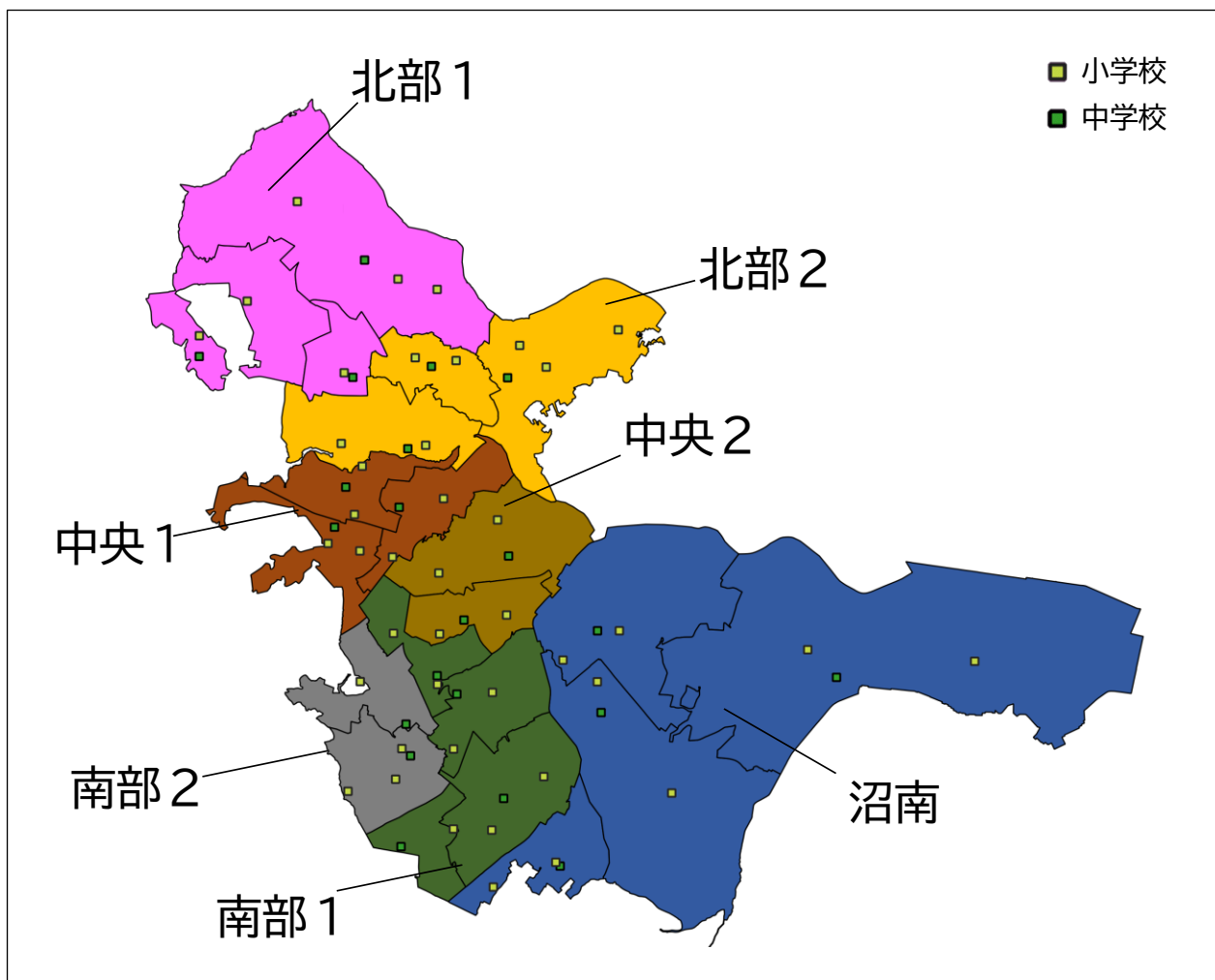
出典：柏市教育委員会資料

②7地域ごと、中学校区ごとの動向

児童生徒数の増減の傾向は全市一律ではなく、中学校区ごとに大きく異なります。図表 資-3～資-6では、本市の21中学校区別の小中学校の児童生徒数について、過去から現在までの増減、並びに今後20年間の推計を、本市が日常生活圏域^(注1)として設定している7地域ごとにまとめました。

図表 資-2 7地域区分

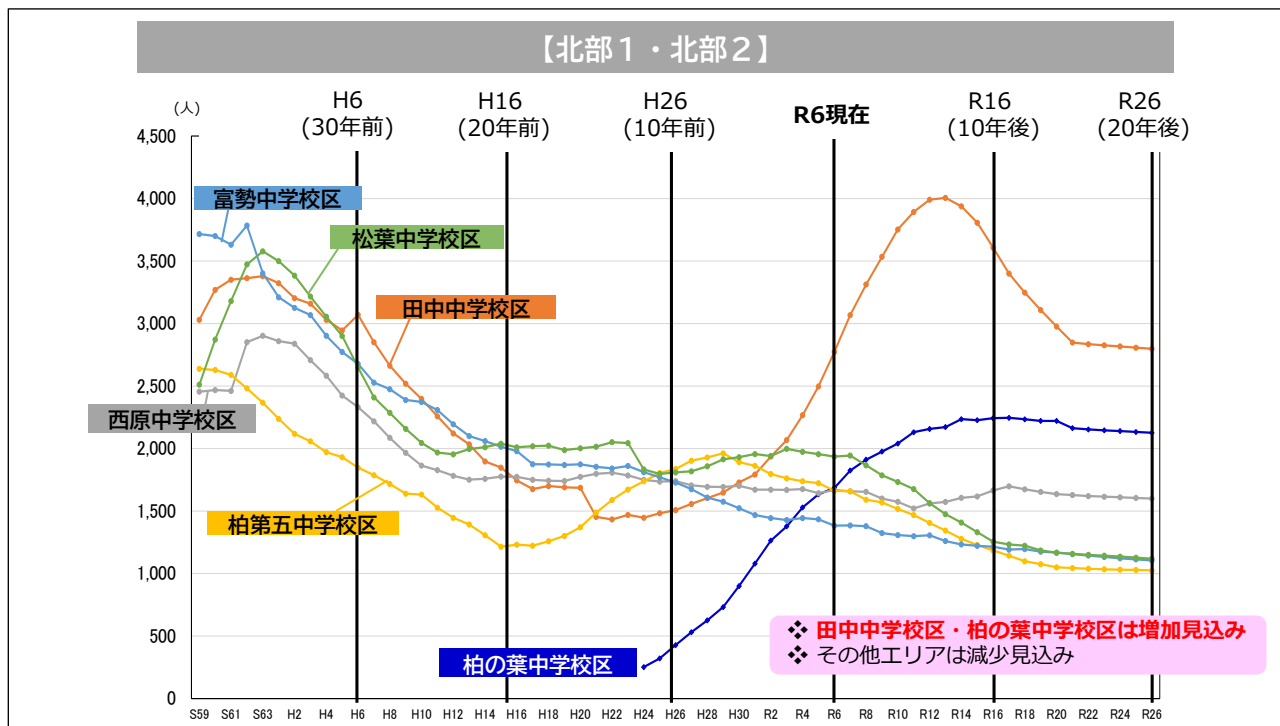
中圏域 (日常生活圏域)	該当する中学校区 (中学校所在地を基準とする)
北部1	田中中学校区, 西原中学校区, 柏の葉中学校区
北部2	柏第五中学校区, 富勢中学校区, 松葉中学校区
中央1	柏中学校区, 柏第三中学校区, 豊四季中学校区
中央2	柏第二中学校区, 柏第四中学校区
南部1	中原中学校区, 土中学校区, 逆井中学校区, 南部中学校区
南部2	酒井根中学校区, 光ヶ丘中学校区
沼南	大津ヶ丘中学校区, 風早中学校区, 高柳中学校区, 手賀中学校区



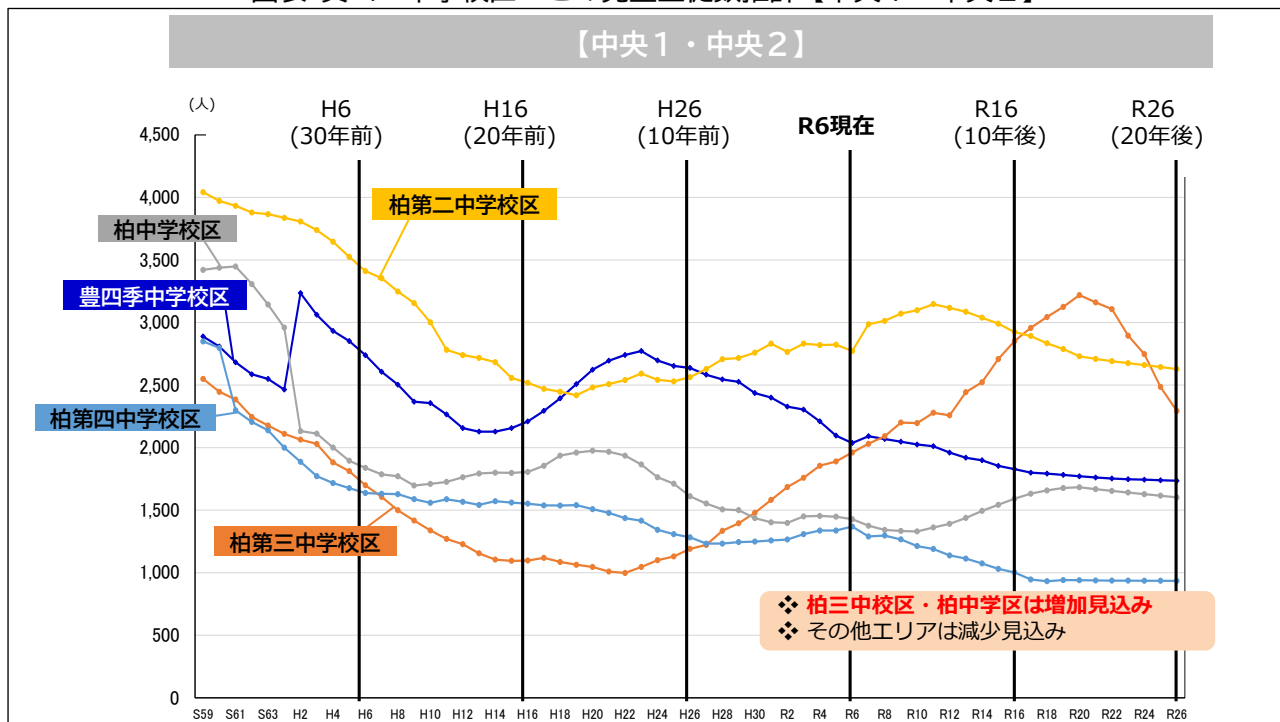
^(注1) 日常生活圏域：柏市では、介護保険法で定められた地域密着型サービスの基盤整備の単位として、7圏域を設定している

今後の児童生徒数の増減傾向をみると、北部及び中央地域では中学校区ごとに増減傾向が異なり、市北部の田中中学校区・柏の葉中学校区や、柏駅への徒歩圏内にあたる柏中学校区、柏第三中学校区などでは今後、児童生徒数が増加する見込みとなっています。一方で、南部及び沼南地域では、今後全エリアで減少する見込みとなっています。

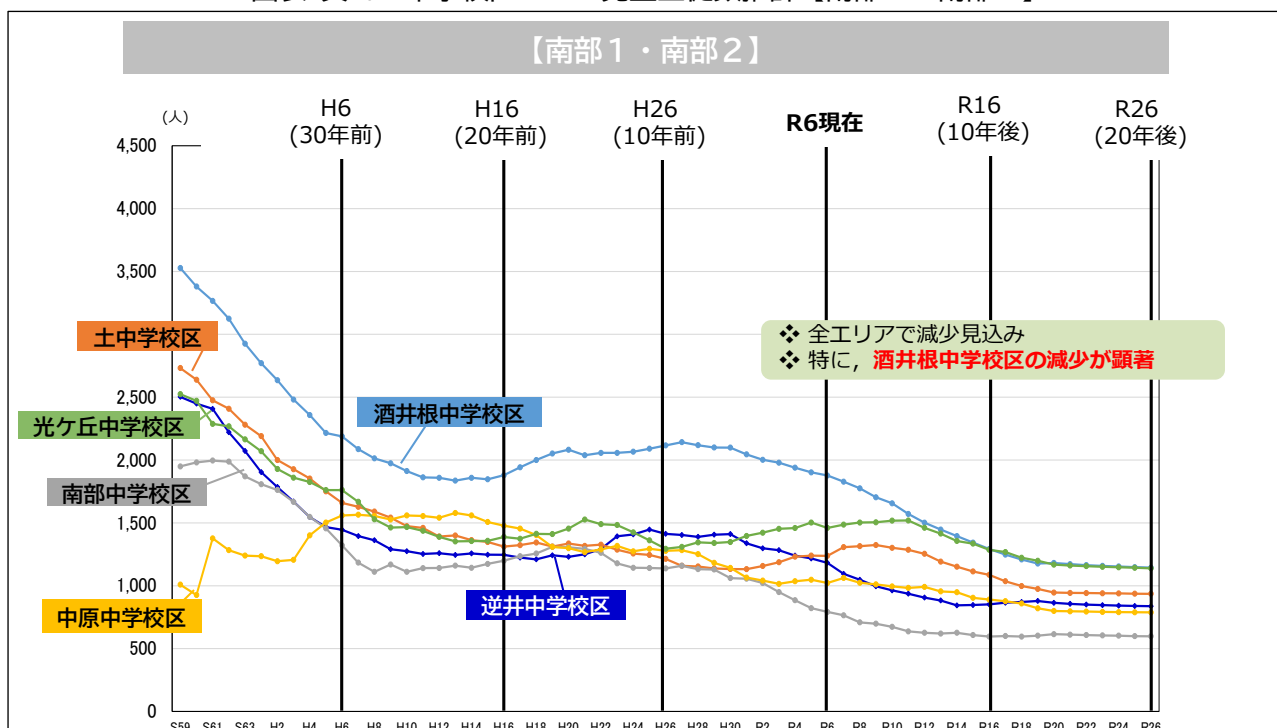
図表 資-3 中学校区ごとの児童生徒数推計【北部1・北部2】



図表 資-4 中学校区ごとの児童生徒数推計【中央1・中央2】

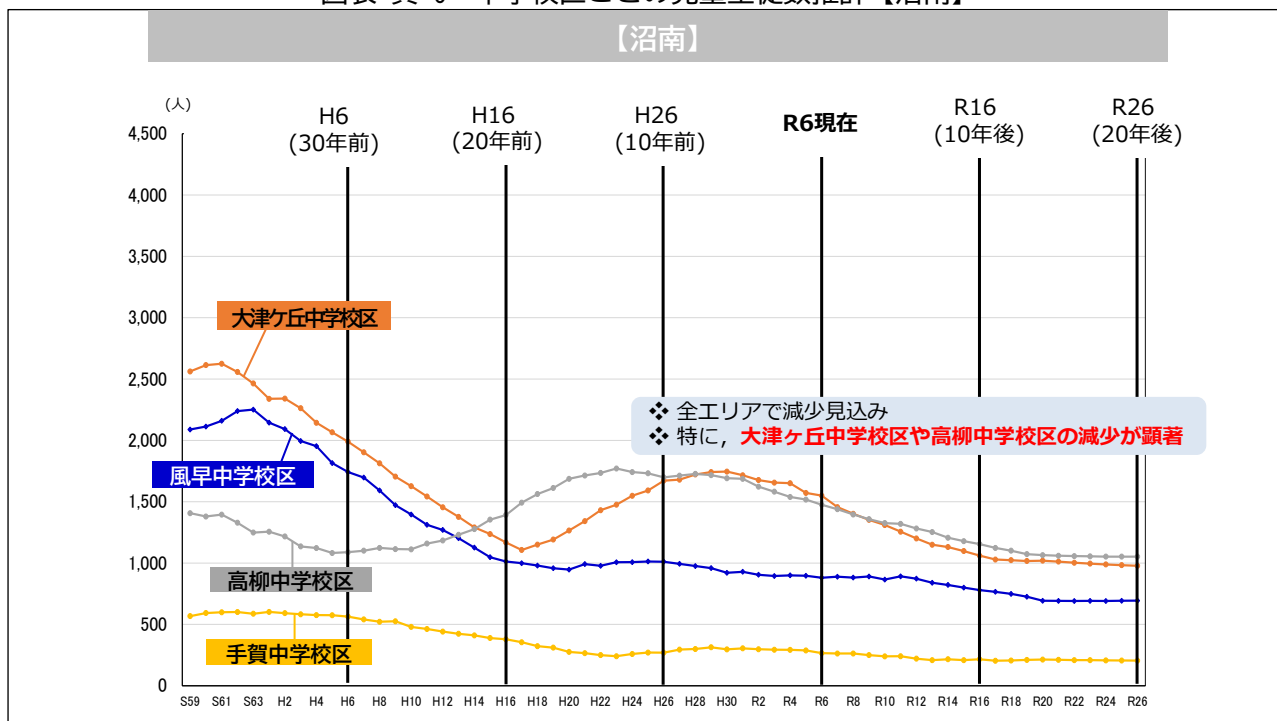


図表 資-5 中学校区ごとの児童生徒数推計【南部1・南部2】



※上段:児童生徒数(人) 下段:通常学級数(学級)

図表 資-6 中学校区ごとの児童生徒数推計【沼南】



図表 資-7 児童生徒数・学級数の推計【北部】

		現在										10年後										20年後					
地域	学校名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26				
		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044				
北部1	柏の葉中	370	374	435	481	518	550	573	590	594	636	656	680	662	647	627	616	609	606	604	602	600	598				
		12	12	13	14	16	17	18	18	18	19	20	21	20	19	18	18	18	18	18	18	18	18				
北部1	柏の葉小	1,264	1,311	1,389	1,430	1,458	1,490	1,558	1,567	1,578	1,599	1,571	1,563	1,584	1,587	1,594	1,605	1,554	1,547	1,542	1,538	1,533	1,528				
		38	39	42	43	44	45	47	46	47	48	48	47	47	47	47	48	46	46	46	46	46	46				
北部1	田中中	617	640	678	739	789	901	993	1,109	1,204	1,257	1,257	1,238	1,226	1,208	1,131	1,010	896	892	889	886	883	880				
		18	18	19	20	22	26	28	30	33	34	33	34	34	33	31	28	25	25	25	25	25	25				
北部1	田中北小	830	999	1,118	1,247	1,322	1,351	1,344	1,302	1,223	1,092	996	884	757	691	662	651	619	616	614	612	610	608				
		26	30	33	37	39	40	40	38	36	32	30	27	24	23	22	22	21	21	21	21	21	21				
北部1	田中小	772	840	1,007	1,069	1,166	1,252	1,312	1,322	1,312	1,301	1,245	1,165	1,085	1,021	992	995	1,015	1,010	1,007	1,004	1,000	997				
		24	25	30	32	35	37	39	39	39	39	37	36	33	31	30	31	32	32	32	32	32	32				
北部1	花野井小	278	294	265	258	257	249	244	258	267	288	309	321	332	327	323	320	318	317	316	315	314	313				
		12	12	12	11	10	10	10	10	10	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
北部1	西原中	492	516	518	522	492	517	509	536	501	503	452	439	397	391	386	382	380	378	377	376	375	374				
		13	14	15	15	15	16	15	16	15	14	13	13	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11				
北部1	十余二小	540	550	538	529	523	502	479	484	491	506	525	555	592	584	577	571	568	565	563	561	559	557				
		18	18	18	18	18	17	16	16	16	16	16	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18				
北部1	西原小	611	602	602	603	585	555	533	541	581	597	640	671	709	699	690	683	680	677	675	673	671	669				
		20	19	20	20	20	19	19	19	20	21	22	23	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24				
北部2	柏第五中	607	546	574	541	548	538	532	514	496	471	465	443	426	387	368	346	342	340	337	335	334	333				
		17	16	17	16	16	15	16	15	15	15	15	14	13	12	12	12	11	11	10	10	10	10				
北部2	柏第四小	680	659	614	585	546	514	483	468	442	419	407	394	389	388	387	387	387	386	385	384	383	381				
		22	20	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
北部2	高田小	436	458	470	465	475	465	453	423	406	388	356	348	328	323	320	317	315	313	312	312	312	311				
		14	15	18	18	18	17	17	16	15	14	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
北部2	富勢中	506	504	493	467	441	469	490	493	450	444	417	416	388	402	391	392	388	385	381	375	372	369				
		15	14	15	15	14	14	14	15	14	13	13	14	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
北部2	富勢小	634	606	649	670	637	601	583	597	596	585	609	609	623	615	607	600	593	586	581	576	571	566				
		19	19	20	21	23	21	20	21	20	19	20	20	20	20	19	18	18	18	18	18	18	18				
北部2	富勢西小	190	171	150	153	150	148	140	130	131	122	123	120	115	114	113	113	112	112	111	111	110	110				
		7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6				
北部2	富勢東小	104	102	93	89	96	90	86	86	83	82	73	69	66	65	64	63	62	61	60	60	60	60				
		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6				
北部2	松葉中	657	646	636	612	643	642	637	601	589	541	473	435	432	427	394	379	375	373	371	370	368	367				
		18	18	18	18	19	19	19	17	18	17	14	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12				
北部2	松葉第一小	718	700	724	695	616	593	550	499	448	435	426	404	387	386	384	383	380	377	375	371	367	363				
		22	21	25	24	22	21	20	18	16	15	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
北部2	松葉第二小	580	590	584	559	527	498	489	463	438	432	432	416	414	410	407	405	403	400	397	395	392	389				
		19	19	19	19	18	17	16	16	15	14	14	13	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12				

【凡例】

※本推計は、令和5年5月1日時点の未就学児数、在籍児童生徒数、転出入率等を用いて算出
令和6年度は5月1日時点の実数を記載

※本資料における中学校区は、児童生徒数の推計上の区分であり、進学系統を示したもの
ではありません(進学系統は資料編 P35 参照)

小学校	～ 6学級	
	7 ～ 11学級	
	12 ～ 17学級	
	18 ～ 24学級	
	25 ～ 30学級	
	31学級～	
中学校	～ 3学級	
	4 ～ 5学級	
	6 ～ 11学級	
	12 ～ 18学級	
	19 ～ 24学級	
	25学級～	

図表 資-8 児童生徒数・学級数の推計【中央】

		現在										10年後										20年後					
地域	学校名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26				
		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044				
中央1	豊四季中	565	514	537	524	538	536	523	520	498	496	457	457	447	450	446	441	435	432	429	427	426	426				
		16	14	16	15	16	15	15	16	15	14	15	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13				
中央1	旭小	556	548	598	586	554	519	496	462	439	423	413	412	411	409	409	408	408	408	408	408	407	405				
		18	18	19	20	19	17	17	15	14	13	12	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
中央1	柏第二小	450	461	448	436	416	417	419	406	411	413	415	407	405	400	398	397	396	395	394	393	391	389				
		15	16	16	15	14	14	14	13	14	14	14	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
南部1	豊小	525	514	508	523	539	553	573	572	571	567	569	552	537	533	529	525	522	518	516	516	515	515				
		17	18	18	18	18	18	19	19	19	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18				
中央1	柏第三中	537	554	558	598	646	649	687	656	674	682	723	755	774	822	851	949	996	1,042	977	972	922	896				
		15	16	16	17	19	19	20	19	20	20	20	21	22	23	23	27	28	28	27	27	25	24				
中央1	柏第七小	813	861	966	999	1,065	1,088	1,138	1,172	1,251	1,311	1,340	1,344	1,318	1,251	1,132	1,020	894	797	735	685	662	649				
		24	26	30	31	33	33	34	35	37	39	40	40	39	37	34	31	28	26	25	23	22	21				
中央1	柏第六小	539	546	507	494	490	458	454	431	519	529	644	752	865	971	1,142	1,250	1,271	1,267	1,183	1,090	902	748				
		18	18	17	16	17	16	16	15	18	18	21	24	27	30	35	38	38	38	36	33	28	24				
中央1	柏中	492	491	461	424	439	423	420	389	380	384	395	414	442	480	510	526	519	513	508	504	501	498				
		13	13	14	12	13	13	13	12	12	12	12	13	13	15	16	15	15	15	15	15	15	15				
中央1	旭東小	327	328	314	305	293	289	286	298	305	312	321	329	331	329	327	325	324	322	320	318	316	313				
		12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
中央1	柏第一小	629	609	601	613	602	618	656	704	753	798	827	848	859	849	840	832	825	819	813	806	799	791				
		20	19	19	19	19	20	21	23	25	27	27	28	28	27	27	26	26	25	24	24	24	24				
中央2	柏第二中	863	808	861	863	904	907	950	950	984	960	975	958	985	942	907	860	850	844	840	836	832	828				
		23	22	25	25	26	26	27	27	28	27	27	27	28	27	26	25	25	24	24	24	24	24				
中央2	柏第五小	922	921	893	895	889	876	877	885	898	907	907	904	900	890	884	879	873	867	862	857	851	845				
		27	29	29	28	28	29	29	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	29	28	28	27				
中央2	柏第三小	1,038	1,043	1,232	1,255	1,278	1,315	1,320	1,282	1,204	1,172	1,109	1,062	1,007	1,002	997	991	986	980	973	967	961	955				
		31	31	38	39	41	41	42	40	37	36	34	32	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30				
中央2	柏第四中	428	427	410	404	413	395	398	389	391	400	372	339	293	281	292	292	290	290	290	290	290	290				
		12	12	12	12	13	12	12	12	12	13	12	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9				
中央2	柏第八小	492	511	484	489	466	449	451	441	427	410	407	412	401	400	399	398	398	398	397	397	397					
		17	18	18	18	17	16	16	15	14	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
中央2	名戸ヶ谷小	417	431	396	404	387	369	341	308	295	264	252	251	252	251	250	250	250	249	249	249	249	248				
		13	14	14	15	14	14	14	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				

※上段:児童生徒数(人) 下段:通常学級数(学級)

※本推計は、令和5年5月1日時点の未就学児数、在籍児童生徒数、転出入率等を用いて算出
令和6年度は5月1日時点の実数を記載

※本資料における中学校区は、児童生徒数の推計上の区分であり、進学系統を示したもの
ではありません(進学系統は資料編 P35 参照)

【凡例】

小学校	～ 6学級	
	7 ～ 11学級	
	12 ～ 17学級	
	18 ～ 24学級	
	25 ～ 30学級	
中学校	31学級～	
	～ 3学級	
	4 ～ 5学級	
	6 ～ 11学級	
	12 ～ 18学級	
	19 ～ 24学級	
	25学級～	

図表 資-9 児童生徒数・学級数の推計【南部】

		現在										10年後										20年後					
地域	学校名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26				
		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044				
南部1	逆井中	615	617	554	540	517	507	489	453	423	383	377	370	378	390	402	390	385	381	379	377	376	376				
		17	16	16	16	15	16	15	14	13	12	12	12	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
南部1	逆井小	302	290	269	259	248	231	222	218	217	215	214	215	221	218	216	214	213	212	211	211	210	209				
		12	12	12	12	12	11	10	10	11	11	11	11	12	11	11	10	9	11	10	10	9	9				
南部1	藤心小	300	275	272	249	231	225	226	235	243	246	256	267	266	263	261	260	258	257	256	254	253	252				
		11	10	12	12	11	10	10	10	10	10	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
南部1	土中	226	238	249	266	264	290	287	284	252	256	271	277	276	243	223	195	193	192	192	192	192	192				
		7	8	8	9	9	10	9	9	9	9	9	9	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6				
南部1	増尾西小	570	546	597	587	588	567	560	559	540	522	500	483	455	452	450	450	449	449	448	447	446	445				
		18	18	21	20	20	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18				
南部1	土小	444	454	461	462	472	445	439	411	400	374	343	327	305	303	302	301	301	301	300	300	299	299				
		13	14	17	17	17	16	16	15	15	14	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
南部1	南部中	322	285	269	249	255	244	220	226	227	227	208	188	178	177	186	200	197	196	195	194	192	191				
		10	9	9	9	9	9	8	8	8	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6				
南部1	土南部小	500	507	496	460	443	429	417	400	393	399	400	408	422	419	417	415	414	412	410	409	407	407				
		16	16	17	16	15	14	14	14	13	14	14	15	15	14	14	14	14	13	13	12	12	12				
南部1	中原中	426	405	412	389	380	383	380	399	392	397	376	382	384	371	336	316	314	312	309	307	306	306				
		12	12	12	12	12	13	12	12	12	12	12	13	12	12	11	9	9	9	9	9	9	9				
南部1	中原小	622	617	650	635	631	612	603	592	563	552	528	508	493	488	485	483	483	483	483	483	483	482				
		20	20	22	22	21	20	19	19	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18				
南部2	酒井根中	666	660	662	632	615	608	602	581	567	559	533	506	445	413	387	394	391	389	386	383	381	380				
		18	18	20	19	19	18	18	18	18	17	15	15	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12				
南部2	酒井根小	613	602	568	553	527	511	475	442	430	409	390	370	365	363	361	361	359	357	357	356	355	353				
		19	19	19	19	18	18	17	16	15	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
南部2	酒井根西小	203	210	219	223	219	210	206	191	171	155	145	138	134	133	132	131	130	129	129	129	129	129				
		7	7	10	11	10	9	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6				
南部2	酒井根東小	420	405	379	367	343	327	288	288	279	272	275	278	304	300	297	295	292	289	286	285	283	282				
		14	13	14	13	12	12	11	11	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
南部2	光ヶ丘中	584	579	561	561	570	600	638	608	602	565	583	554	557	515	493	464	460	458	456	455	453	452				
		17	16	17	17	16	18	19	18	17	17	17	17	17	15	15	15	15	15	15	14	13	13				
南部2	光ヶ丘小	919	881	925	942	935	918	881	853	813	791	752	732	711	708	706	704	701	698	695	692	690	687				
		27	28	29	30	30	29	28	27	26	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24				

※上段:児童生徒数(人) 下段:通常学級数(学級)

※本推計は、令和5年5月1日時点の未就学児数、在籍児童生徒数、転出入率等を用いて算出
令和6年度は5月1日時点の実数を記載

※本資料における中学校区は、児童生徒数の推計上の区分であり、進学系統を示したもの
ではありません(進学系統は資料編 P35 参照)

【凡例】

小学校	～ 6学級	
	7 ～ 11学級	
	12 ～ 17学級	
	18 ～ 24学級	
	25 ～ 30学級	
中学校	31学級～	
	～ 3学級	
	4 ～ 5学級	
	6 ～ 11学級	
	12 ～ 18学級	
	19 ～ 24学級	
	25学級～	

図表 資-10 児童生徒数・学級数の推計【沼南】

		現在										10年後										20年後					
地域	学校名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26				
		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044				
沼南	鳳早中	311	299	306	290	305	291	303	303	290	286	280	283	301	286	263	232	231	230	230	229	229	229				
		9	9	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9				
沼南	鳳早南部小	286	271	273	270	261	244	246	238	226	219	210	204	190	191	191	190	190	190	190	190	191	191				
		12	11	12	12	12	12	12	11	10	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6				
沼南	大津ヶ丘第二小	300	311	310	322	325	331	343	332	324	317	310	293	275	272	272	271	271	271	272	272	273	274				
		12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
沼南	大津ヶ丘中	589	571	505	458	465	472	449	425	408	423	391	361	318	321	319	329	326	323	320	317	315	312				
		17	17	16	15	14	14	14	13	13	13	12	11	9	10	10	10	10	10	10	9	9	9				
沼南	鳳早北部小	673	667	643	633	585	542	536	516	488	461	463	465	458	454	452	449	446	443	441	439	436	435				
		22	22	21	20	19	18	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18				
沼南	大津ヶ丘第一小	310	312	308	311	302	296	271	260	254	247	244	235	253	249	246	242	240	237	235	233	232	231				
		12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
沼南	高柳中	558	529	529	484	470	434	460	452	451	427	416	420	404	384	358	352	349	348	347	346	345	345				
		15	15	15	14	14	13	14	14	13	12	12	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
沼南	高柳小	678	688	678	700	703	716	685	648	619	585	553	514	500	497	495	494	492	491	491	491	492	493				
		21	23	23	24	24	24	23	22	21	20	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18				
沼南	高柳西小	282	259	232	212	185	176	175	182	183	195	210	221	220	220	220	219	219	218	217	216	216	215				
		11	11	9	8	8	8	8	9	9	10	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
沼南	手賀中	107	91	100	84	92	100	99	87	68	86	75	76	61	64	71	74	74	73	73	72	71	70				
		3	3	3	3	4	5	4	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3				
沼南	手賀西小	112	105	122	131	122	104	102	92	98	93	99	102	105	105	103	103	102	101	101	101	101	101				
		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6				
沼南	手賀東小	69	70	41	48	36	36	40	42	43	37	35	38	38	37	37	37	36	35	35	34	34	34				
		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6				

※上段:児童生徒数(人) 下段:通常学級数(学級)

※本推計は、令和5年5月1日時点の未就学児数、在籍児童生徒数、転出入率等を用いて算出
令和6年度は5月1日時点の実数を記載

※本資料における中学校区は、児童生徒数の推計上の区分であり、進学系統を示したもの
ではありません(進学系統は資料編 P35 参照)

【凡例】

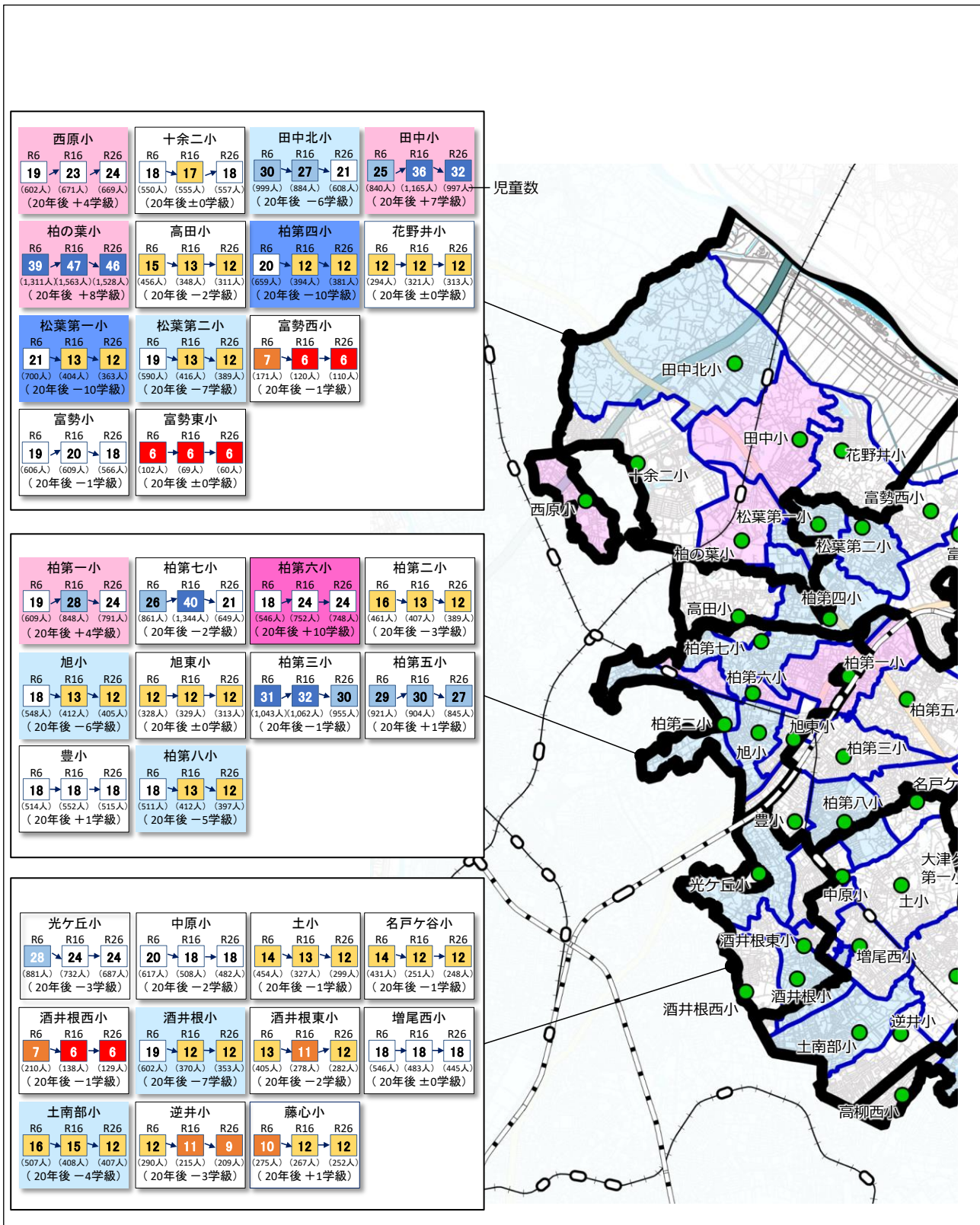
小学校	～ 6学級	
	7 ～ 11学級	
	12 ～ 17学級	
	18 ～ 24学級	
	25 ～ 30学級	
	31学級～	
中学校	～ 3学級	
	4 ～ 5学級	
	6 ～ 11学級	
	12 ～ 18学級	
	19 ～ 24学級	
	25学級～	

③学校別学級数の動向

1) 小学校の学級数の変化

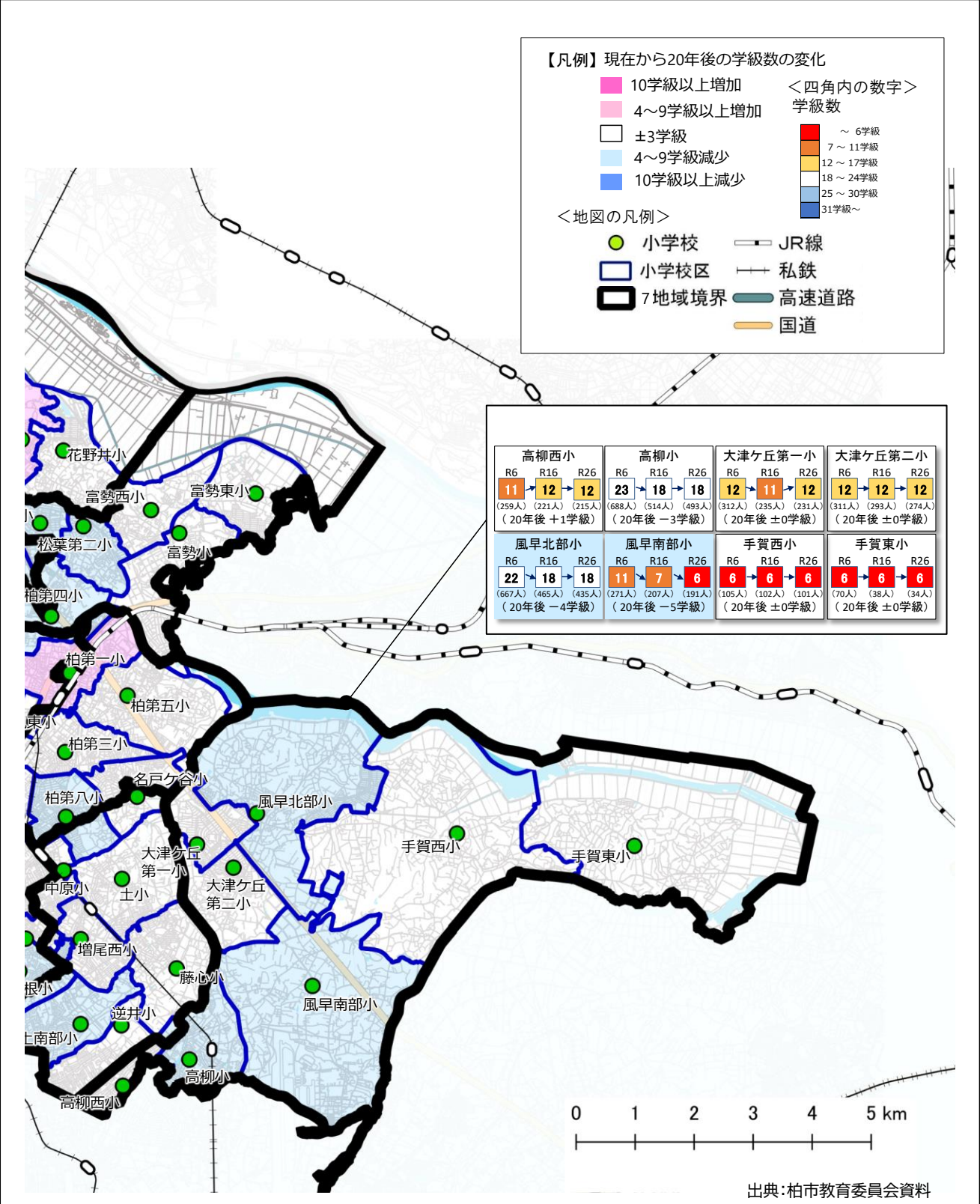
今後の学級数の変化動向は、学校ごとに大きな違いがあります。地域単位での増加が予測される北部地域であっても、学校単位では田中小学校区と田中北小学校区のように、増加予測校と減少予測校が隣り合っている例がみられます。

図表 資-11 学級数の変化【小学校】



一方で、南部や沼南地域の学校では、すでに小規模校化している学校に加え、今後クラス替えができなくなる単学級校が出現する見込みです。今後は、同じ地域の中でも増加と減少の両方への対応が求められます。

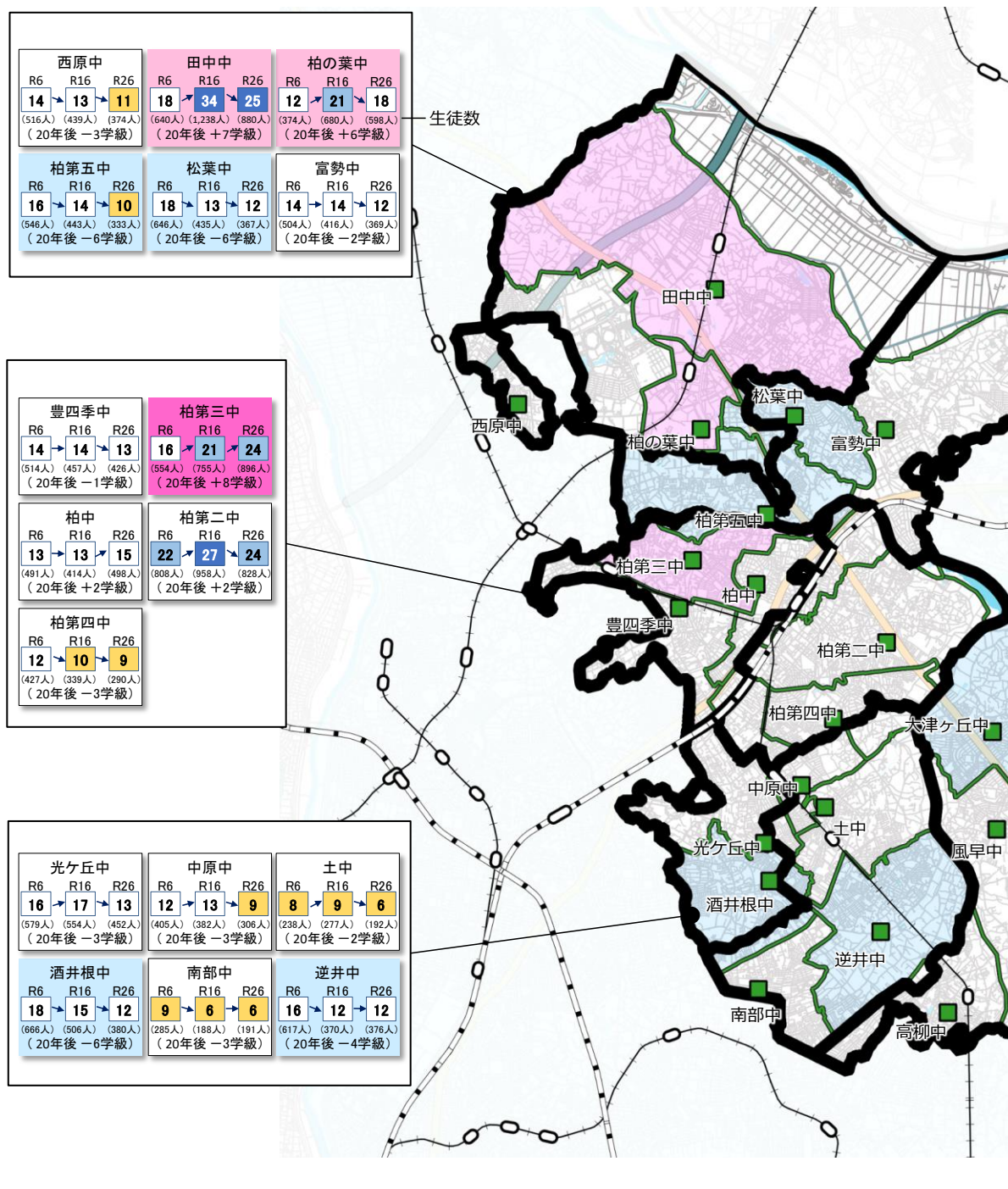
なお、小学校の学級数は、全学年35人学級を前提として算出しています（以下、本方針の学級数の算出について同様）。



2) 中学校の学級数の変化

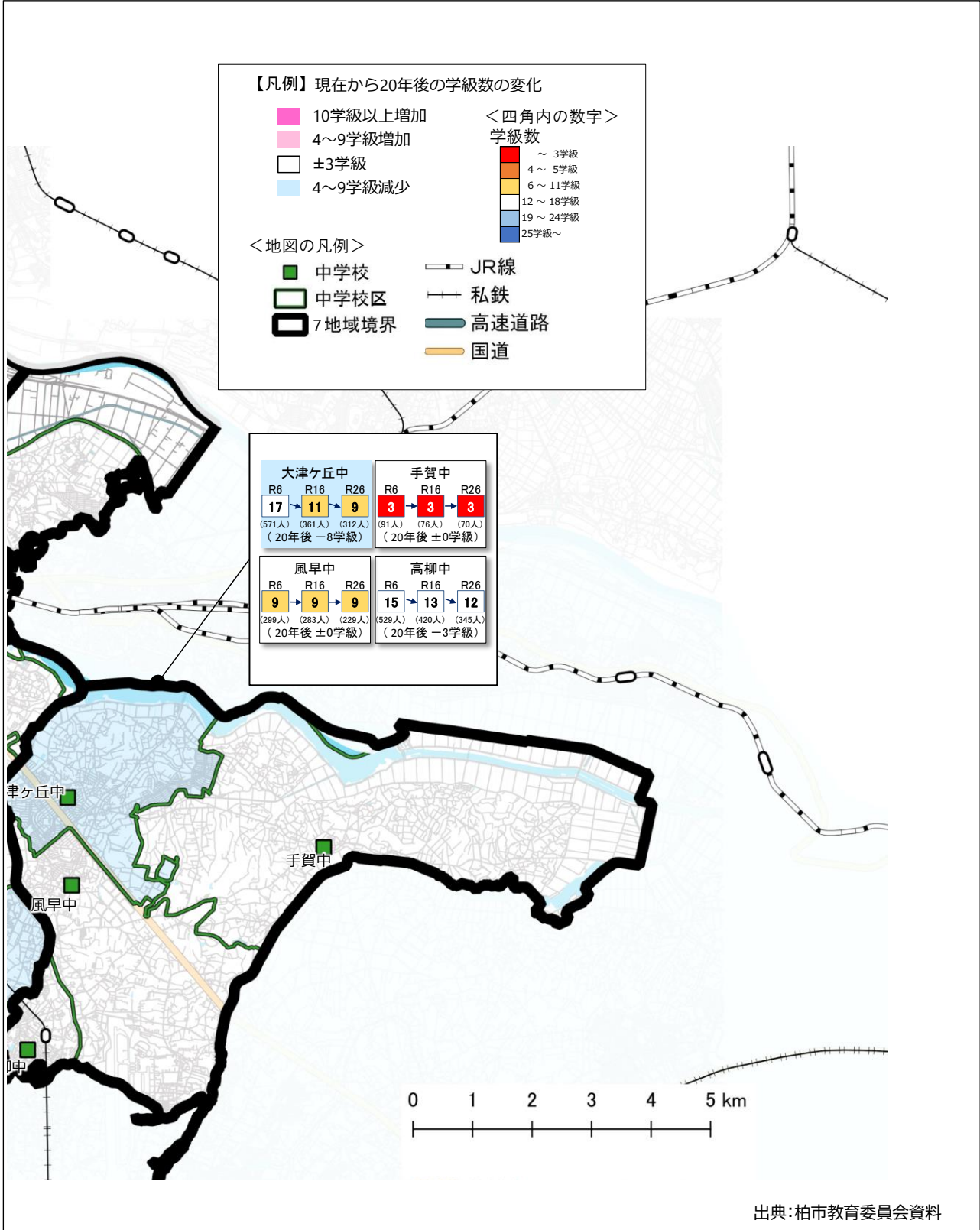
中学校においても、増加対応と減少対応の両方が求められます。特に学級数の変動が大きいのは北部の田中中学校区で、今後10年間は増加するものの、その後の10年間は減少に転じる見込みです。

図表 資-12 学級数の変化【中学校】



一方で、南部や沼南地域の学校では、すでに1学年3学級を割り込んでいる中学校もあり、
今後はさらに小規模校化が進行する見込みとなっています。

なお、中学校の学級数は、1年生が38人学級、2年生と3年生が40人学級を前提として算出
しています（以下、本方針の学級数の算出について同様）。

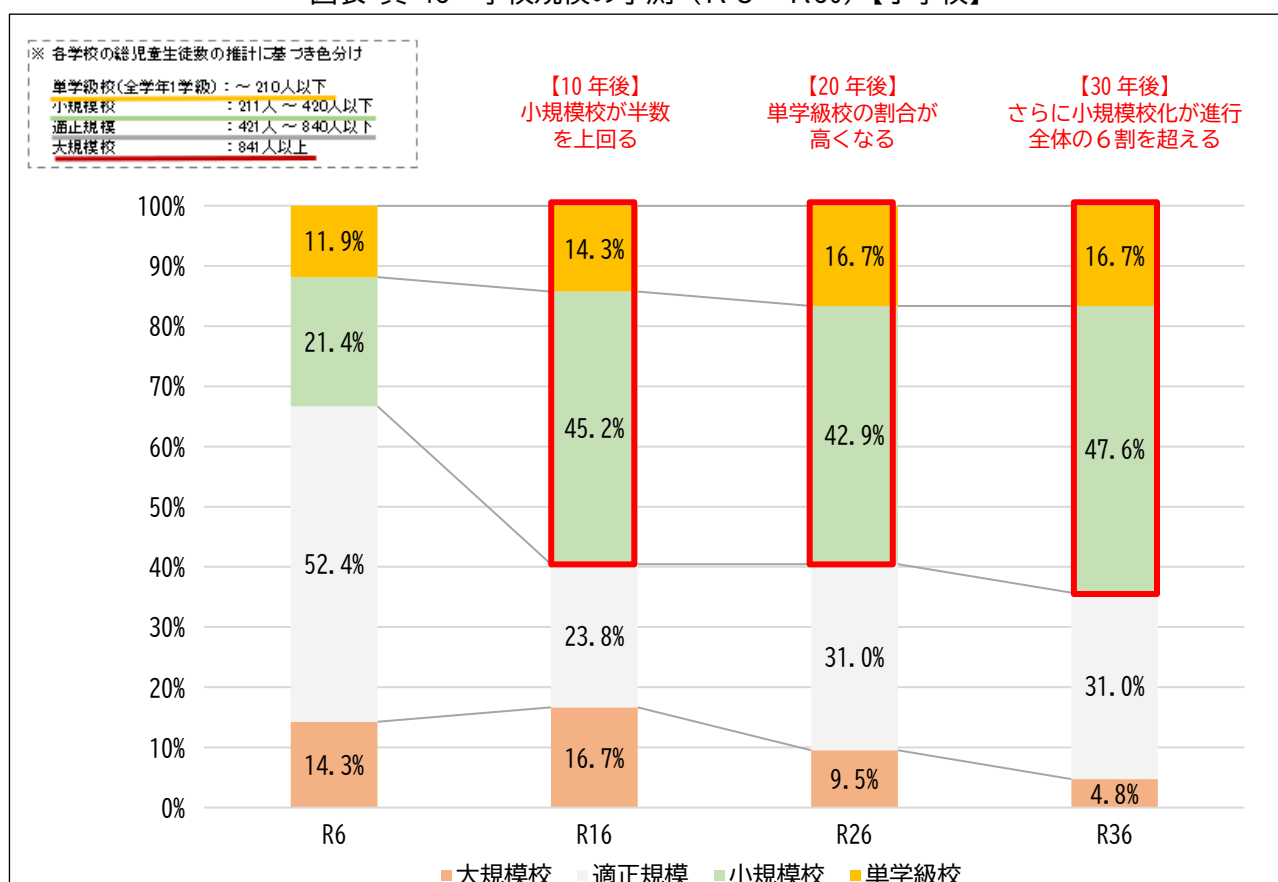


(2) 学校規模の現状と今後の見込み

①小学校

小学校の学校規模^(注2)について、全学年1学級の単学級校、1学年1～2クラスとなる小規模校、1学年2～4クラスとなる適正規模校、それ以上のクラス数となる大規模校に分類すると、令和6（2024）年度現在、本市の小学校は適正規模校が52.4%を占めていますが、10年後には小規模校が半数を上回り、30年後の令和36（2054）年には小規模校が全体の6割（64.3%）に達すると予測しています。

図表 資-13 学校規模の予測（R6～R36）【小学校】



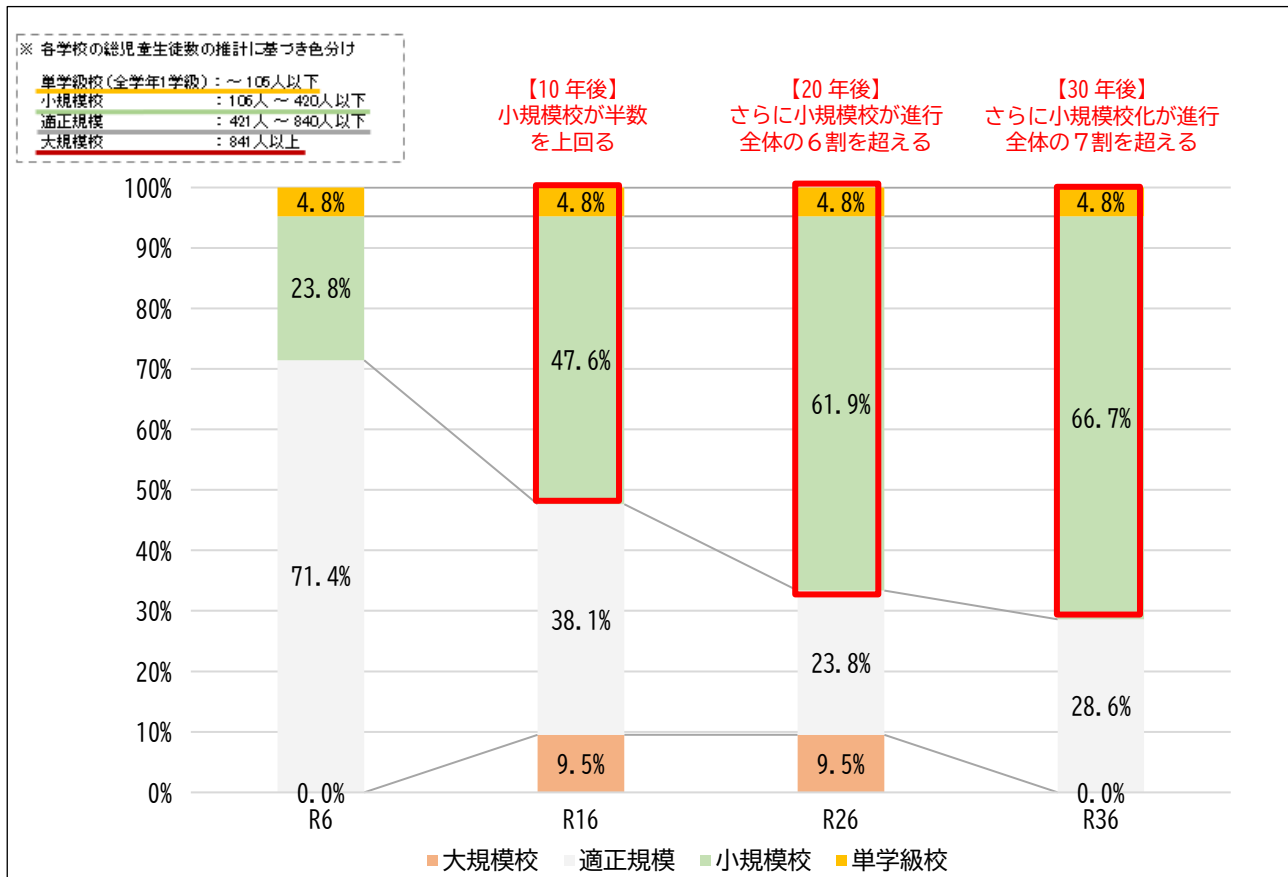
出典：柏市教育委員会資料

(注2) 学校規模：「柏市立小学校及び中学校の適正配置に関する基本方針」（平成28年改訂）では、小・中学校共に12～24学級校を適正規模校としている

②中学校

中学校の学校規模について、全学年1学級の単学級校，1学年1～4クラスとなる小規模校，1学年4～8クラスとなる適正規模校，それ以上のクラス数となる大規模校に分類すると，令和6（2024）年現在，本市の中学校は適正規模校が71.4%を占めていますが，10年後には小規模校が大幅に増加して全体の半数を上回り，30年後には小学校より高い全体の7割（71.5%）が小規模校となる予測となっています。

図表 資-14 学校規模の予測（R 6～R36）【中学校】



出典：柏市教育委員会資料

(3) 学校施設の老朽化状況

①学校施設の概要

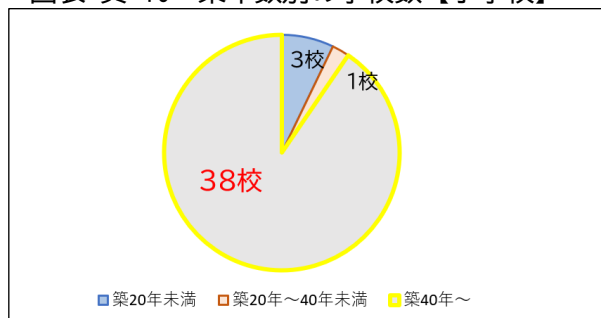
1) 小学校

小学校の延床面積の平均は6,208㎡となっています。このうち、最も大きいのは令和5（2023）年度に移転した田中北小学校で、約15,000㎡となっています。校舎棟が築40年以上の小学校は全42校中38校（全体の90.5%）となっており、このうち2校は築60年を経過しています。

図表 資-15 市立学校施設の概要【小学校】

名称	住所	20地域	延床面積 (㎡)	建築 年度	建築 年度	築後 年数	児童生徒数 (人)	学級数(学級)		複合・併設
								普通 学級	特別 支援	
1 柏第一小学校	あけぼの1-7-6	柏中央	6,359	1963	S38	61	609	19	5	こどもルーム
2 柏第二小学校	豊四季310	新富	5,618	1965	S40	59	461	16	4	こどもルーム
3 柏第三小学校	若葉町4-54	富里	10,224	1965	S40	59	1,043	31	8	こどもルーム
4 柏第四小学校	松ヶ崎1182-9	高田・松ヶ崎	6,149	1969	S44	55	659	20	3	こどもルーム
5 柏第五小学校	柏932-7	柏中央	7,309	1968	S43	56	921	29	5	こどもルーム
6 柏第六小学校	豊四季台4-2-1	豊四季台	5,105	1963	S38	61	546	18	4	こどもルーム
7 光ヶ丘小学校	流山市向小金4-20-1	光ヶ丘	6,357	1966	S41	58	881	28	4	こどもルーム
8 土小学校	増尾4-4-1	増尾	5,489	1966	S41	58	454	14	4	こどもルーム
9 富勢小学校	布施925-1	富勢	5,686	1965	S40	59	606	19	5	こどもルーム
10 田中小学校	大室1193-3	田中	10,787	1971	S46	53	840	25	6	こどもルーム
11 田中北小学校	柏市船戸1-7-1	田中	14,970	2022	R4	2	999	30	6	こどもルーム
12 土南部小学校	新逆井1-10-1	南部	5,699	1969	S44	55	507	16	4	こどもルーム
13 柏第七小学校	篠籠田723-1	豊四季台	6,196	1970	S45	54	861	26	4	こどもルーム
14 柏第八小学校	永楽台2-8-1	永楽台	5,880	1971	S46	53	511	18	4	こどもルーム
15 酒井根小学校	酒井根19-2	酒井根	5,666	1971	S46	53	602	19	4	こどもルーム
16 西原小学校	西原4-17-1	西原	6,522	1972	S47	52	602	19	5	こどもルーム
17 旭小学校	旭町6-5-17	旭町	5,656	1973	S48	51	548	18	4	こどもルーム
18 藤心小学校	藤心880-1	藤心	4,346	1974	S49	50	275	10	3	こどもルーム
19 中原小学校	中原1821-1	増尾	6,285	1975	S50	49	617	20	4	こどもルーム
20 酒井根西小学校	酒井根662-1	酒井根	5,098	1976	S51	48	210	7	2	こどもルーム
21 高田小学校	高田376-3	高田・松ヶ崎	5,143	1977	S52	47	458	15	4	こどもルーム
22 名戸ヶ谷小学校	名戸ヶ谷474-1	増尾	5,010	1976	S51	48	431	14	4	こどもルーム
23 増尾西小学校	増尾台3-5-9	増尾	6,224	1978	S53	46	546	18	3	こどもルーム
24 逆井小学校	逆井452-2	南部	5,957	1978	S53	46	290	12	2	こどもルーム
25 富勢東小学校	布施2176-2	富勢	5,184	1979	S54	45	102	6	1	こどもルーム
26 豊小学校	豊四季610-2	富里	5,125	1980	S55	44	514	18	4	こどもルーム
27 酒井根東小学校	酒井根1-2-1	酒井根	5,378	1981	S56	43	405	13	3	こどもルーム
28 旭東小学校	旭町5-3-9	旭町	4,011	1981	S56	43	328	12	3	こどもルーム
29 松葉第一小学校	松葉町5-3	松葉	6,178	1981	S56	43	700	21	5	こどもルーム
30 花野井小学校	花野井1652-34	田中	5,796	1982	S57	42	294	12	3	こどもルーム
31 松葉第二小学校	松葉町2-16	松葉	5,944	1982	S57	42	590	19	6	こどもルーム
32 富勢西小学校	布施84-2	富勢	5,524	1983	S58	41	171	7	3	こどもルーム
33 十倉二小学校	柏の葉4-4-1	田中	5,146	1987	S62	37	550	18	4	こどもルーム
34 風早南部小学校	藤ヶ谷新田111-2	風早南部	5,595	2010	H22	14	271	11	3	こどもルーム
35 風早北部小学校	大井1854-1	風早北部	6,102	1969	S44	55	667	22	5	こどもルーム
36 手賀西小学校	泉541	手賀	2,996	1972	S47	52	105	6	2	こどもルーム
37 手賀東小学校	手賀479-7	手賀	3,128	1984	S59	40	70	6	1	こどもルーム
38 高柳小学校	高南台3-14-12	風早南部	6,087	1972	S47	52	688	23	4	こどもルーム
39 大津ヶ丘第一小学校	大津ヶ丘3-50	風早北部	5,949	1978	S53	46	312	12	3	こどもルーム
40 大津ヶ丘第二小学校	大津ヶ丘4-8	風早北部	4,850	1978	S53	46	311	12	3	こどもルーム
41 高柳西小学校	しいの木台3-2	風早南部	4,850	1980	S55	44	259	11	3	こどもルーム
42 柏の葉小学校	十倉二348-51	田中	15,144	2012	H24	12	1,311	39	4	こどもルーム
小学校42校 計			260,722				22,125	729	161	

図表 資-16 築年数別の学校数【小学校】



柏市立学校施設個別施設計画
より作成

+写真 資-1 3面ホワイトボードの活用例（土小学校）



①主体的・対話的で深い学びを促す教室空間（3面ホワイトボード）



①ホワイトボード付き間仕切り

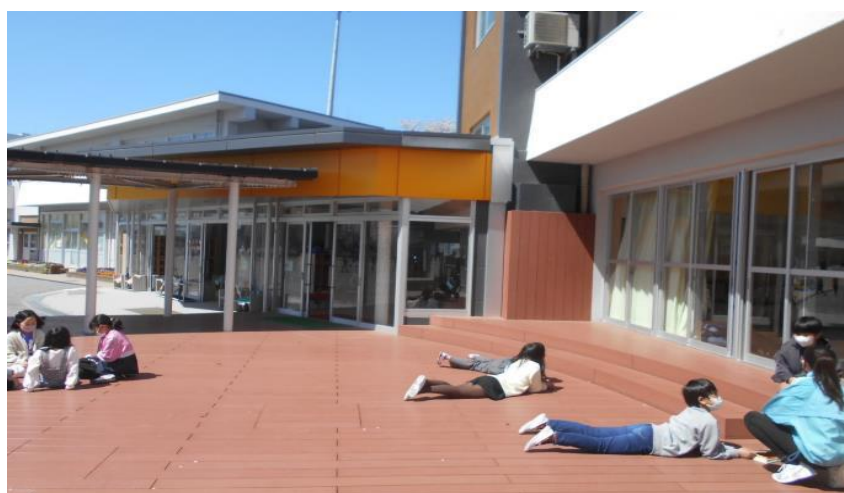


①隣の教室との開口部（教室背面）

写真 資-2 田中北小学校図書館の活用例



写真 資-3 長寿命化改修時の図書館改修例（土小学校）



2) 中学校・高等学校

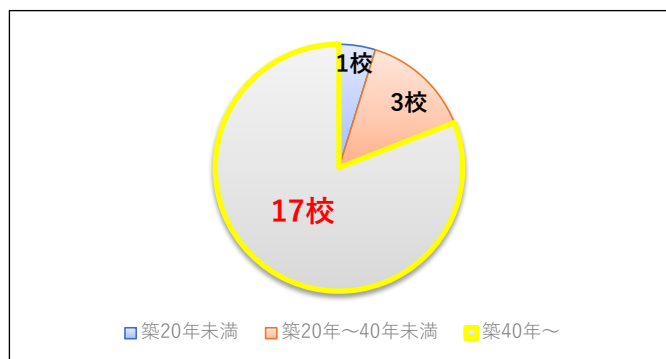
中学校の延床面積の平均は7,188㎡となっています。このうち、最も大きいのは柏中学校で、13,405㎡となっています。1970年代に建設された学校が多く、全学校の平均では小学校よりは5年程度新しい施設状況となっていますが、21校中17校（全体の81.0%）で築40年以上が経過しており、老朽化が進行しています。

市立柏高等学校の延床面積は20,604㎡となっています。建築年度は昭和52（1977）年で、築47年が経過しています。

図表 資-17 市立学校施設の概要【中学校・高等学校】

名称	住所	20地域	延床面積 (㎡)	建築 年度	建築 年度	築後 年数	児童生徒 数(人)	学級数(学級)		複合・併設
								普通 学級	特別 支援	
1 柏中学校	明原4-1-1	豊四季台	13,405	2001	H13	23	491	13	3	
2 柏第二中学校	弥生町6-6	新田原	8,318	1970	S45	54	808	22	4	
3 土中学校	増尾1-23-1	増尾	6,210	1966	S41	58	238	8	2	
4 富勢中学校	根戸467-1	富勢	7,335	1966	S41	58	504	14	3	
5 田中中学校	大室249-9	田中	6,932	1970	S45	54	640	18	4	
6 光ヶ丘中学校	光ヶ丘4-23-1	光ヶ丘	7,041	1968	S43	56	579	16	3	
7 柏第三中学校	篠籠田987-1	豊四季台	7,527	1972	S47	52	554	16	3	
8 柏第四中学校	名戸ヶ谷1-6-8	永楽台	6,400	1973	S48	51	427	12	3	
9 南部中学校	南増尾6-16-1	南部	6,299	1974	S49	50	285	9	1	
10 柏第五中学校	高田919-1	高田・松ヶ崎	6,824	1977	S52	47	546	16	2	
11 酒井根中学校	酒井根1-3-1	酒井根	7,686	1978	S53	46	660	18	4	
12 西原中学校	西原6-13-1	西原	6,985	1979	S54	45	516	14	3	
13 逆井中学校	逆井555	藤心	7,270	1981	S56	43	617	16	4	
14 松葉中学校	松葉町3-14	松葉	7,379	1981	S56	43	646	18	4	
15 中原中学校	中原1816-2	増尾	6,520	1986	S61	38	405	12	4	
16 豊四季中学校	豊四季287-7	新富	7,204	1990	H2	34	514	14	2	
17 風早中学校	塚崎1319	風早北部	5,953	1967	S42	57	299	9	2	
18 手賀中学校	柳戸690	手賀	3,966	1968	S43	56	91	3	2	
19 大津ヶ丘中学校	大津ヶ丘1-25	風早北部	7,219	1978	S53	46	571	17	3	
20 高柳中学校	高南台1-1-1	風早南部	6,297	1981	S56	43	529	15	3	
21 柏の葉中学校	柏市十倉2-337-93	田中	8,180	2018	H30	6	374	12	2	
中学校20校 計			150,950				10,294	292	61	
1 柏高等学校	船戸山高野325-1	田中	20,604	1977	S52	47	944	24	—	
高等学校1校 計			20,604				944	24	—	

図表 資-18 築年数別の学校数【中学校】



柏市立学校施設個別施設計画より作成

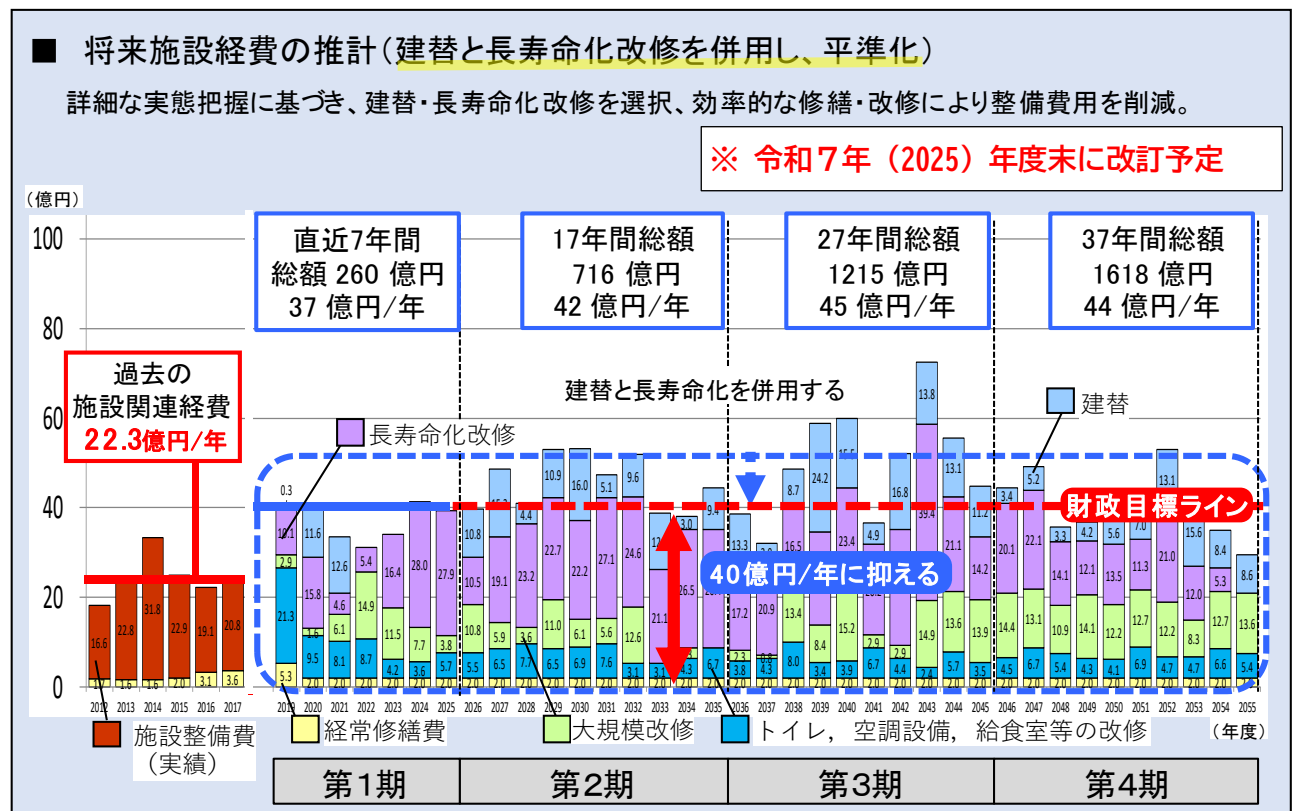
②学校施設の整備費用

平成31（2019）年3月に策定された「柏市立学校施設個別施設計画^{（注3）}」によると、本市の小中学校の今後の施設経費は建替と長寿命化改修を併用した場合には、平均44億円/年の施設経費が見込まれるものと推計されています。これは、平成24（2012）年からの6年間の実績、22.3億円/年と比較しておよそ2倍（197.3%）の金額となります。

令和5（2023）年度末までに、土小学校及び田中小学校の校舎の長寿命化改修を行うなど、計画的かつ効率的な修繕・改修に取り組んでいる一方、他の優先して対応を要する施設工事や校舎等の新增築工事等の対応もあり計画どおりに実施することができていない現状があります。

建築費の高騰等、昨今の社会情勢の変化を踏まえつつ、施設の老朽化に対応し、安全・安心な学校施設として維持していくためには、更なる財政負担の増加が見込まれます。そのような将来にわたる財政負担の見込みや児童生徒数の減少、施設の老朽化状況等を踏まえ、「柏市立学校施設個別施設計画」を令和7（2025）年度末に改訂を行います。

図表 資-19 長期整備費用（平成31（2019）年3月「柏市学校施設個別施設計画」より）



出典：柏市立学校施設個別施設計画（平成31年3月）

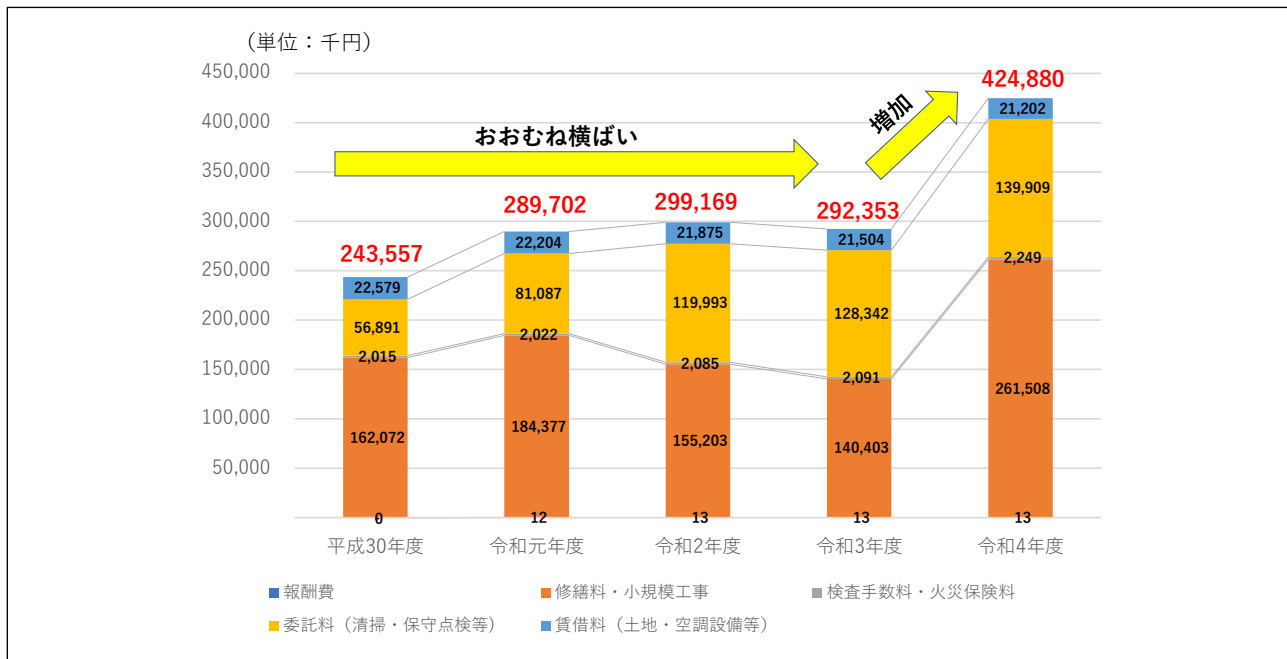
（注3） 柏市立学校施設個別施設計画：中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図りながら、施設の機能維持や安全性を確保するための計画

③学校施設の維持管理コスト概要

1) 学校に係る維持管理コスト

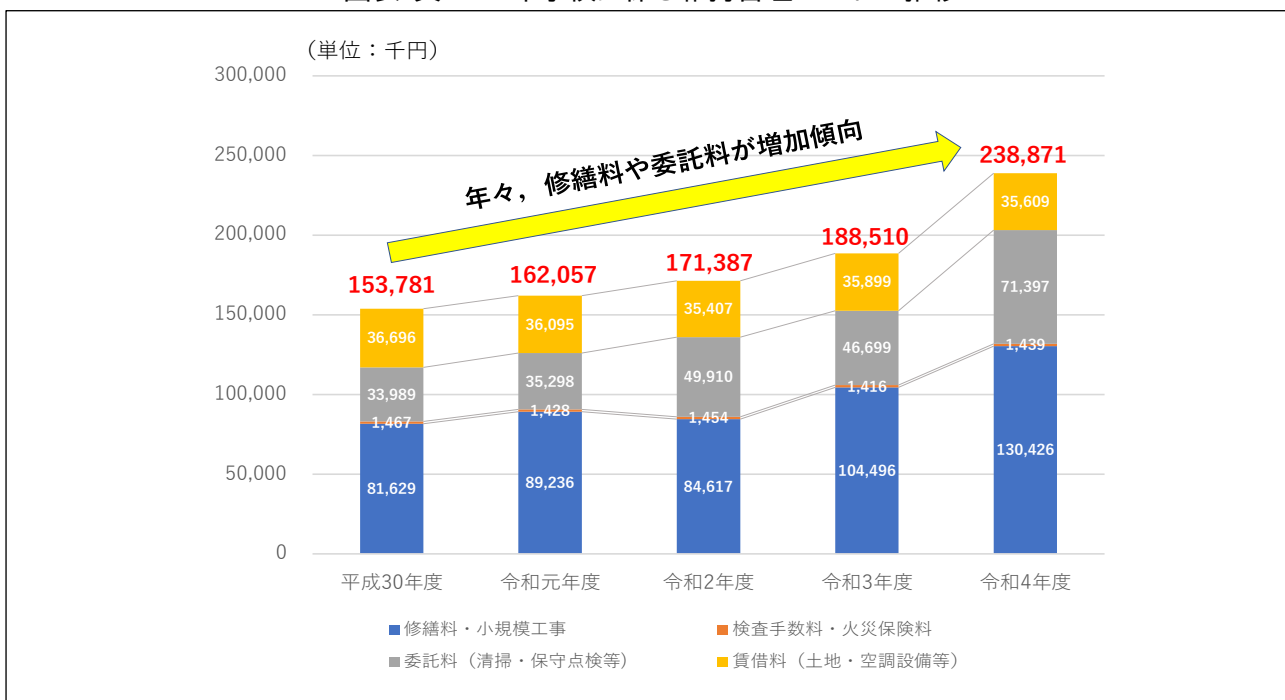
学校に係る維持管理コストには、修繕料や工事費だけでなく、清掃・保守点検等に係る委託料などが必要です。近年、小・中学校ともに、「修繕・小規模工事」「委託料」に関するコストが増加傾向にあります（令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で休校期間等がありました。が、学校の維持管理にかかるコストには顕著な影響は確認されませんでした）。

図表 資-20 小学校に係る維持管理コストの推移



※小学校の維持管理に係る各年度の決算額を基に作成

図表 資-21 中学校に係る維持管理コストの推移



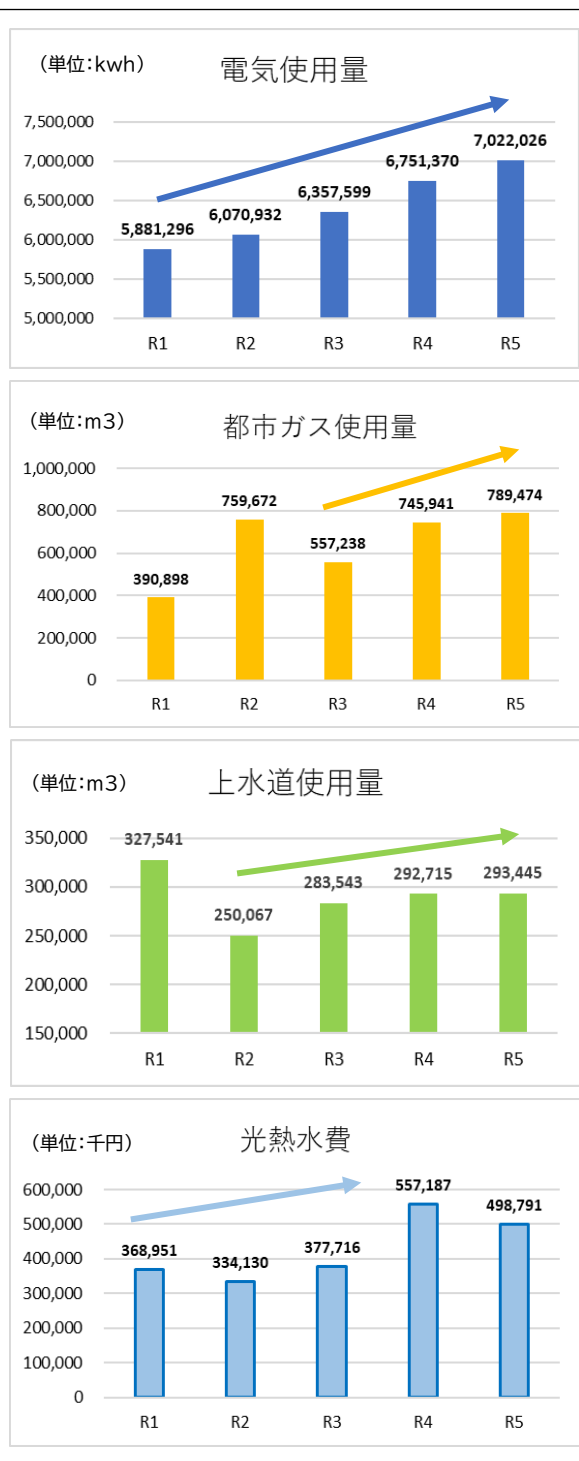
※中学校の維持管理に係る各年度の決算額を基に作成

2) 学校の光熱水費・使用量

本市の小学校が使用する電気・ガス・上水道の使用量は、電気使用量が増加傾向で、それ以外の使用量はおおむね横ばいであり、全体コストは、令和元（2019）年度からの5年で約1.4倍増加しています。

一方、中学校の電気・ガス・上水道の使用量は、おおむね横ばいとなっており、全体コストは、5年で約1.3倍増加しています。

図表 資-22 小学校の光熱水費用・使用量



図表 資-23 中学校の光熱水費・使用量



※光熱水費・使用量を基に作成

(4) 通学路の現状

①通学距離の現状

小中学校の通学区域は、本市が規則によって規定しています。また、通学路は安全面を考慮し、各学校長が指定しています。柏市立小・中学校の通学距離は、小学校では最長通学距離が3.8kmで、各校の最長通学距離の平均は1.95kmとなっています。中学校では最長5.0kmで、各校の最長通学距離の平均が2.69kmとなっています。全校において国が示す基準内の通学距離となっているものの、昨今の夏場の猛暑や台風等の気象状況の変化を踏まえ、子どもたちにとって「安全」かつ「過度な負担とならない」対策が必要です。

自転車通学については、現在、一部の中学校で認められています。各学校が定める一定の通学距離を超える生徒で自転車通学を希望する場合、学校長の判断により、自転車通学を認めています。

図表 資-24 市立小中学校における「最長通学距離」

No.	学校名	最長通学路	No.	学校名	最長通学路
1	柏第一小学校	2.30 km	1	柏中学校	1.40 km
2	柏第二小学校	2.50 km	2	柏第二中学校	2.50 km
3	柏第三小学校	1.10 km	3	土中学校	2.00 km
4	柏第四小学校	3.00 km	4	富勢中学校	2.60 km
5	柏第五小学校	2.50 km	5	田中学校	4.00 km
6	柏第六小学校	2.50 km	6	光ヶ丘中学校	3.00 km
7	光ヶ丘小学校	2.00 km	7	柏第三中学校	2.00 km
8	土小学校	1.45 km	8	柏第四中学校	2.70 km
9	富勢小学校	3.40 km	9	南部中学校	2.10 km
10	田中小学校	2.50 km	10	柏第五中学校	2.70 km
11	田中北小学校	3.00 km	11	酒井根中学校	2.00 km
12	土南部小学校	2.10 km	12	西原中学校	3.30 km
13	柏第七小学校	1.30 km	13	逆井中学校	2.50 km
14	柏第八小学校	1.30 km	14	松葉中学校	1.40 km
15	酒井根小学校	1.30 km	15	中原中学校	2.70 km
16	西原小学校	1.20 km	16	豊四季中学校	1.80 km
17	旭小学校	1.00 km	17	風早中学校	5.00 km
18	藤心小学校	2.00 km	18	手賀中学校	4.20 km
19	中原小学校	1.85 km	19	大津ヶ丘中学校	4.20 km
20	酒井根西小学校	2.00 km	20	高柳中学校	2.50 km
21	高田小学校	1.20 km	21	柏の葉中学校	1.80 km
22	名戸ヶ谷小学校	1.90 km		1校あたり平均	2.69 km
23	増尾西小学校	2.50 km			
24	逆井小学校	2.00 km			
25	富勢東小学校	1.80 km			
26	豊小学校	1.50 km			
27	酒井根東小学校	2.00 km			
28	旭東小学校	1.00 km			
29	松葉第一小学校	1.80 km			
30	花野井小学校	1.50 km			
31	松葉第二小学校	1.50 km			
32	富勢西小学校	3.00 km			
33	十余二小学校	1.30 km			
34	風早南部小学校	2.10 km			
35	風早北部小学校	2.50 km			
36	手賀西小学校	3.80 km			
37	手賀東小学校	2.50 km			
38	高柳小学校	1.80 km			
39	大津ヶ丘第一小学校	1.50 km			
40	大津ヶ丘第二小学校	1.50 km			
41	高柳西小学校	1.10 km			
42	柏の葉小学校	1.90 km			
	1校あたり平均	1.95 km			

(各学校からの報告をもとに柏市が作成)

【国が示す通学距離の基準】

- 小学生：4 km以内
- 中学生：6 km以内

※通学時間は「おおむね1時間以内」
 ※文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き（平成27年1月27日）」より

②通学距離と通学時間の関係性

児童生徒の通学距離と時間について、令和5（2023）年11月に市内小学校で調査を実施しました。その結果、小学校低学年が2.0km歩くのに約29分を要し、大人より1.2倍の時間を要することが分かりました。

将来的に通学区域の見直し等を検討する際には、安全面はもちろん、通学距離だけでなく、子どもにとっての通学時間も配慮した検討が必要となります。

【調査概要】

- ・低学年(小1～小3)の児童のうち、最長距離を通学している児童の下校時における通学時間を調査
- ・各学年1名ずつを調査
- ・調査時間帯：小1・小2→14:30下校、小3→15:10下校
- ・機器による差異が生じないように、調査実施者3名が共通の距離及び時間計測アプリ（Samsung Health）を使用し計測

【調査結果】

対象児童	自宅までの距離（m）	要した時間（分）	2kmに要する時間（分）	備考
小学1年生男子	2,540	37	29	・3～4人の集団で帰宅 ・時々ふざけながら（傘で遊びながら） ・1人になると歩くスピードが加速
小学2年生男子	2,710	43	32	
小学3年生男子	2,680	36	27	
3名の平均	2,643	39	29	

（参考：成人の所要時間）

※調査実施者が児童と同じ距離を歩いた際に要した時間

	距離（m）	要した時間（分）	2kmに要する時間（分）
調査実施者A	2,540	30	24
調査実施者B	2,710	34	25
調査実施者C	2,680	30	22
3名の平均	2,643	31	24

❖ 小学校低学年が2km歩くのに約29分を要する

❖ 小学校低学年は大人よりも約1.2倍の時間を要する

(5) 教育上の課題について

①学校の規模により生じる変化

1) 過小規模校・小規模校

本市における12学級未満の小規模校は、小学校が42校中8校、中学校が21校中4校（令和6年5月1日時点）となっています。文部科学省の手引きによると、小規模校には教員の目が届きやすい、児童生徒の発言の機会が増えるなどのメリットがある一方で、クラス替えができない、お互いに励まし合い向上していく教育活動がしにくいなどのデメリットがあるとされています。

図表 資-25 小規模校における考慮の必要な視点

過小規模校（小：6学級以下、中：3学級以下）・小規模校（7～11学級）

【事象】

- ◆ 全ての学年または一部の学年でクラス替えができない
- ◆ クラス同士が切磋琢磨する教育活動がしにくい
- ◆ クラブ活動や部活動の種類が限定されやすい
- ◆ 全体の教職員数が少ない
- ◆ 進学等の際に大きな集団への適応に困難をきたす可能性がある
- ◆ 複式学級で運営する可能性がある

【小規模校における考慮の必要な視点】

子ども

- クラス内で男女比の偏りが生じやすい
- 多様な価値観に触れることが困難になりやすい
- 集団の中で自己主張したり、他者を尊重する経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につきにくい
- 児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい
- 特定の子どもの問題行動にクラス全体が影響を受けやすい

学校行事

- 運動会等の集団活動や行事の教育効果が確保しにくい
- 一人あたりの保護者の負担が大きくなりやすい

授業

- 班活動やグループ活動に制約が生じやすい
- 協力的な学習で取り上げる課題に制約が生じやすい
- 教科等が得意な子供の考えにクラス全体が引っ張られやすい

教職員

- 教職員と児童生徒との心理的な距離が近くなりやすい
- 1人あたりの校務事務の負担が大きくなりやすい
- 経験年数や専門性等バランスのとれた教職員配置やそれらを生かした指導の充実が困難になりやすい

➡ 人間関係の固定化や多様な価値観に触れにくい等、児童生徒の教育環境として課題が多い

【市内の6学級以下の学校の様子】



出典：柏市立学校 HP

【市内の7～11学級以下の学校の様子】



出典：柏市立学校 HP

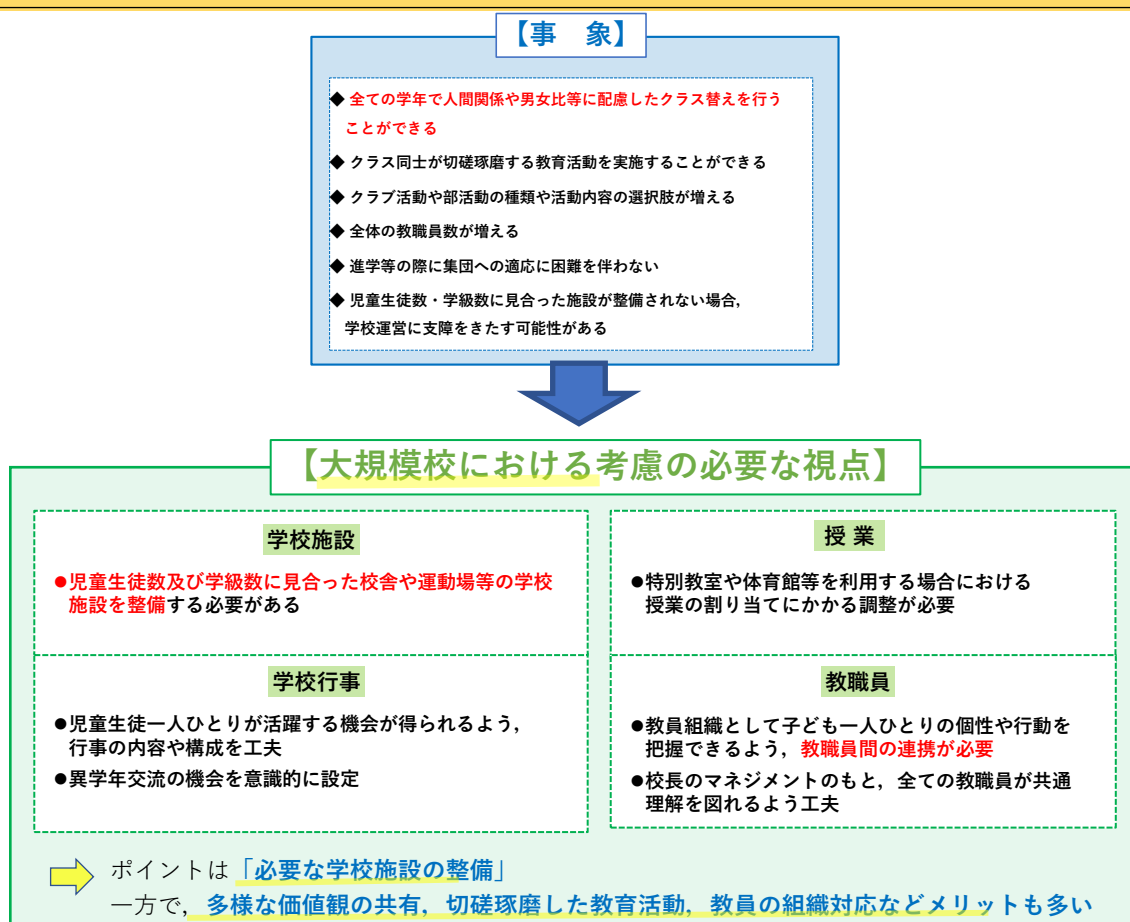
※文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き（平成27年1月27日）」を基に作成

2) 大規模校

25学級以上の大規模校は、小学校で42校中7校（令和6年5月1日時点）となっています。大規模校には、多彩な人間関係に触れる機会や、児童生徒個人間で問題があった際のクラス替え対応等のメリットがある一方で、児童生徒数・学級数に見合った施設が必要、子ども一人一人の個性などの把握が難しくなることがある、など考慮すべき点も考えられます。

図表 資-26 標準規模・大規模校における考慮の必要な視点

標準規模校（12～18学級）・大規模校（25学級以上）



【市内の12～18学級以下の学校の様子】



出典：柏市立学校 HP

【市内の25学級以上の学校の様子】

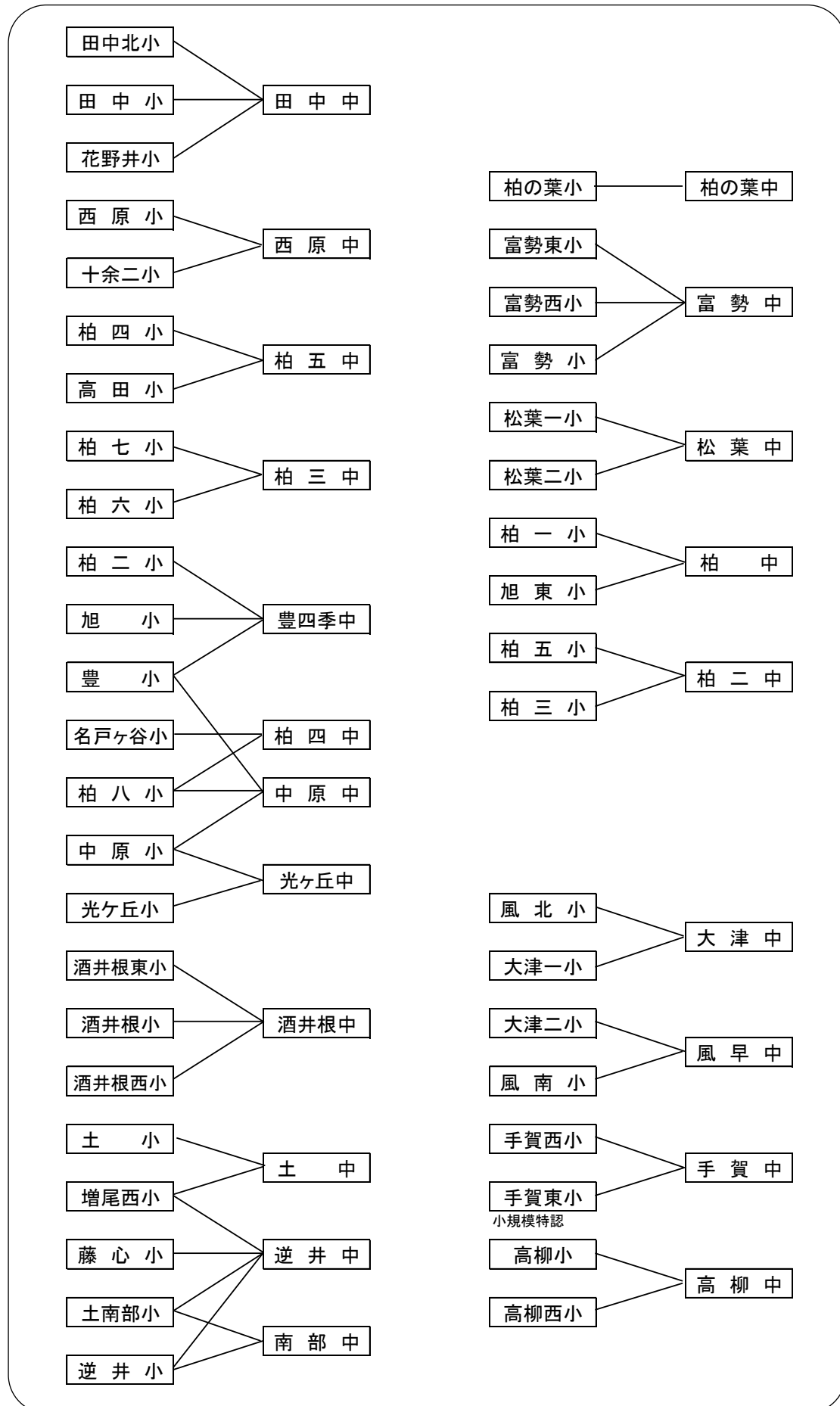


出典：柏市立学校 HP

※文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き（平成27年1月27日）」を基に作成

3
(5

図表 資-28 柏市立小・中学校 進学系統図

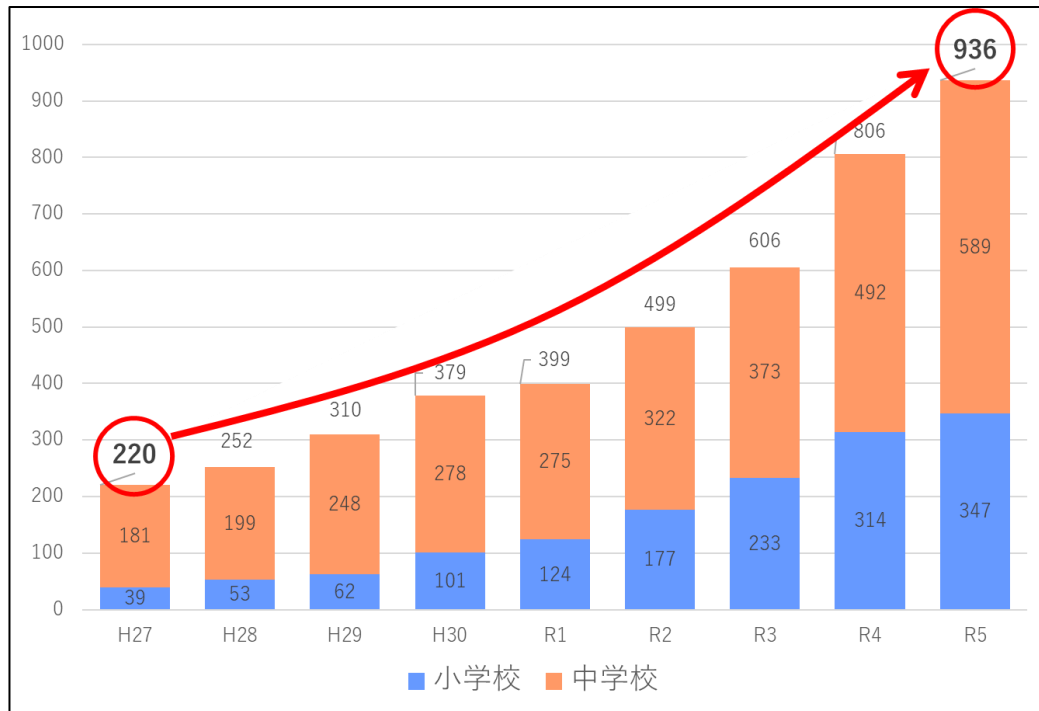


③不登校児童生徒への支援

1) 不登校児童生徒数

本市の不登校を理由とした長期欠席者^(注4)数は増加傾向にあります。令和5（2023）年度の不登校児童生徒数は、小学校が347人、中学校が589人となっています。

図表 資-29 不登校児童生徒数の推移



出典：柏市教育委員会資料

2) 不登校の要因

学校に通いづらさを感じる要因は、個々の児童生徒の状況により異なり、複数の要因が影響している可能性もあります。文部科学省が行った「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」によると、不登校となる主たる要因としては、「無気力・不安」が半分以上を占めています。

図表 資-30 不登校の要因（全国）

	人数	不登校児童生徒に占める割合
無気力・不安	154,772 人	51.8%
生活リズムの乱れ, あそび, 非行	33,999 人	11.4%
いじめを除く友人関係をめぐる問題	27,510 人	9.2%
親子の関わり方	22,187 人	7.4%
上記に該当なし	14,814 人	5.0%

出典：文部科学省「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」

(注4) 長期欠席者：年間30日以上欠席した児童生徒

3) 不登校児童生徒への対応

ア 不登校児童生徒支援事業

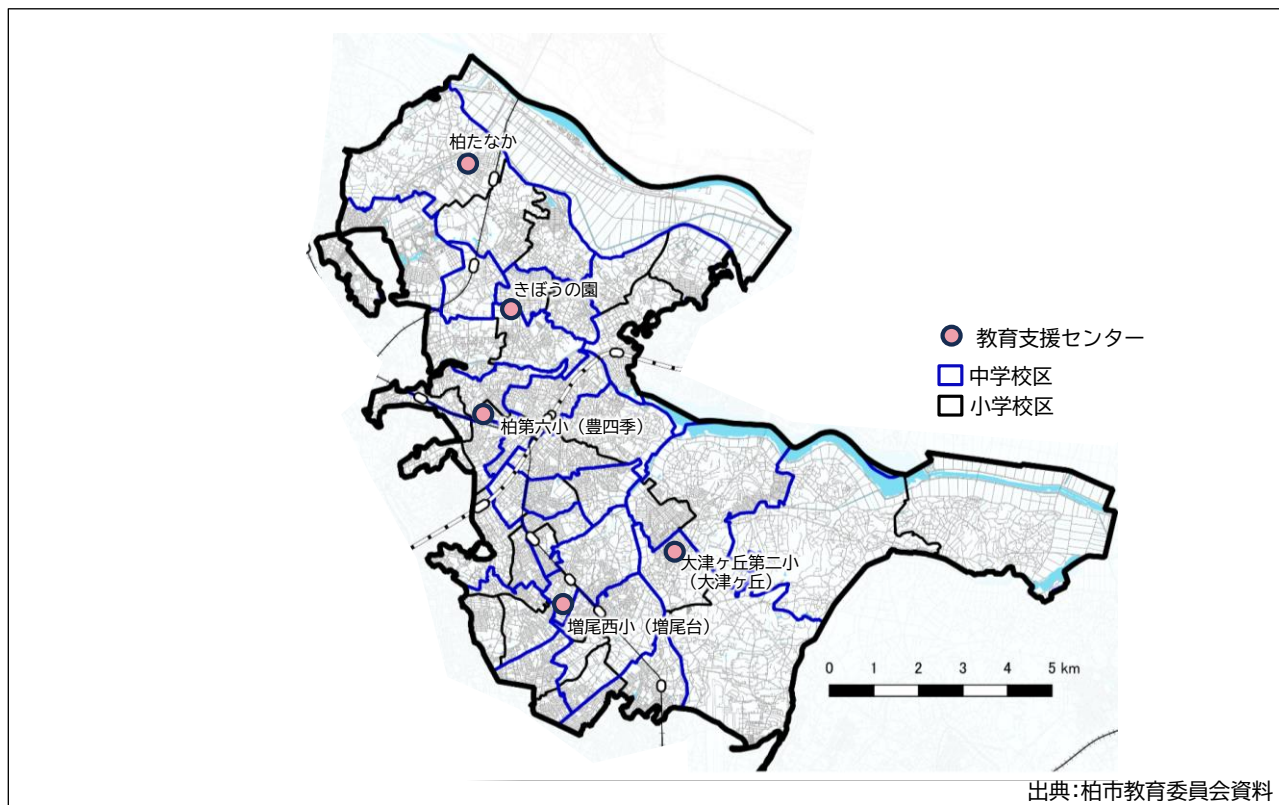
本市は、不登校児童生徒への対応として様々な支援事業を実施し、児童生徒一人一人の学ぶ機会の保障、友達と関わる機会の提供などを支援しています。

図表 資-31 不登校児童生徒支援事業

事業名	事業内容
①教育支援センター設置 (きぼうの園, 柏たなか, 豊四季台, 増尾台, 大津ヶ丘)	不登校児童生徒やその保護者に対し, 学習支援や教育相談, 訪問活動を行うことで学校と家庭以外の居場所として機能し, 社会的自立につなげることを目的として開設。 きぼうの園は学習支援を中心とした居場所づくり, また, 地区ごとの教育支援センターは, 田中北小学校(柏たなか), 柏第六小学校(豊四季台), 増尾西小学校(増尾台), 大津ヶ丘第二小学校(大津ヶ丘)の学校内に設置し, 各自のペースで通って過ごせる家庭と学校以外の居場所づくりの支援を行う。また, 訪問相談も実施している。
②校内教育支援センター設置	市内全中学校に校内教育支援センターを設置。個別支援教員を配置し, 学習支援, 教育相談を行っている。
③あすなろキャンプ・自然体験教室	不登校児童生徒への支援策として, 昭和 54 年度からあすなろキャンプを実施している。集団生活を体験させることにより, 社会性を培い, 自主性を身に付け, 生きる力の育成につなげていくことを目標に実施している。

出典: 柏市教育委員会資料

図表 資-32 教育支援センターの配置図

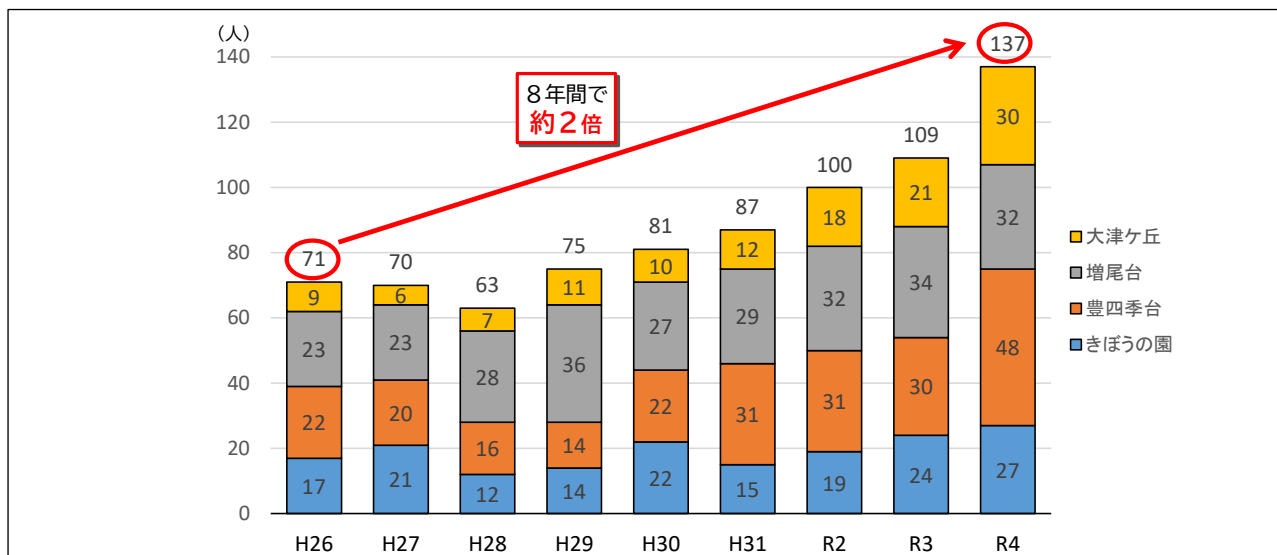


出典: 柏市教育委員会資料

イ 教育支援センターの利用者数推移

教育支援センターの利用者数は、平成26（2014）年度の71人から令和4（2022）年度の137人へと、不登校児童生徒数の増加に伴い利用者数も約2倍に増加しています。従来は、4施設の設置でしたが、利用者の増加に伴い令和5（2023）年度より「教育支援センター 柏たなか」を北部地区に開設しました。

図表 資-33 教育支援センター利用者数推移（旧適応指導教室・学習相談室）

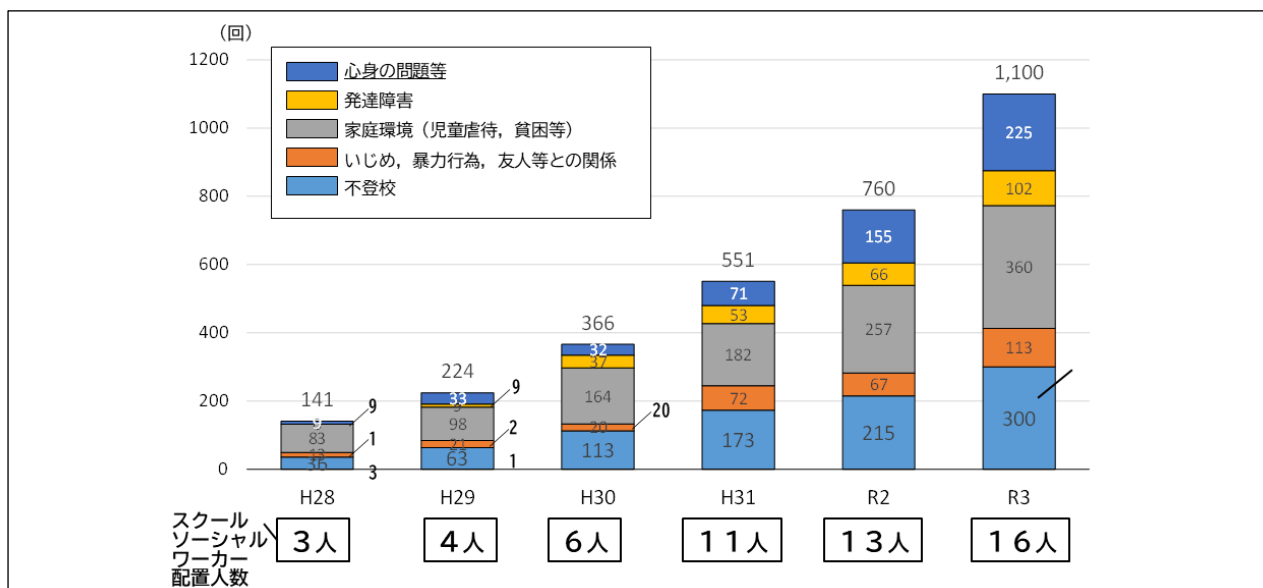


出典: 柏市教育委員会資料

ウ スクールソーシャルワーカーの活動実績（相談件数の推移）

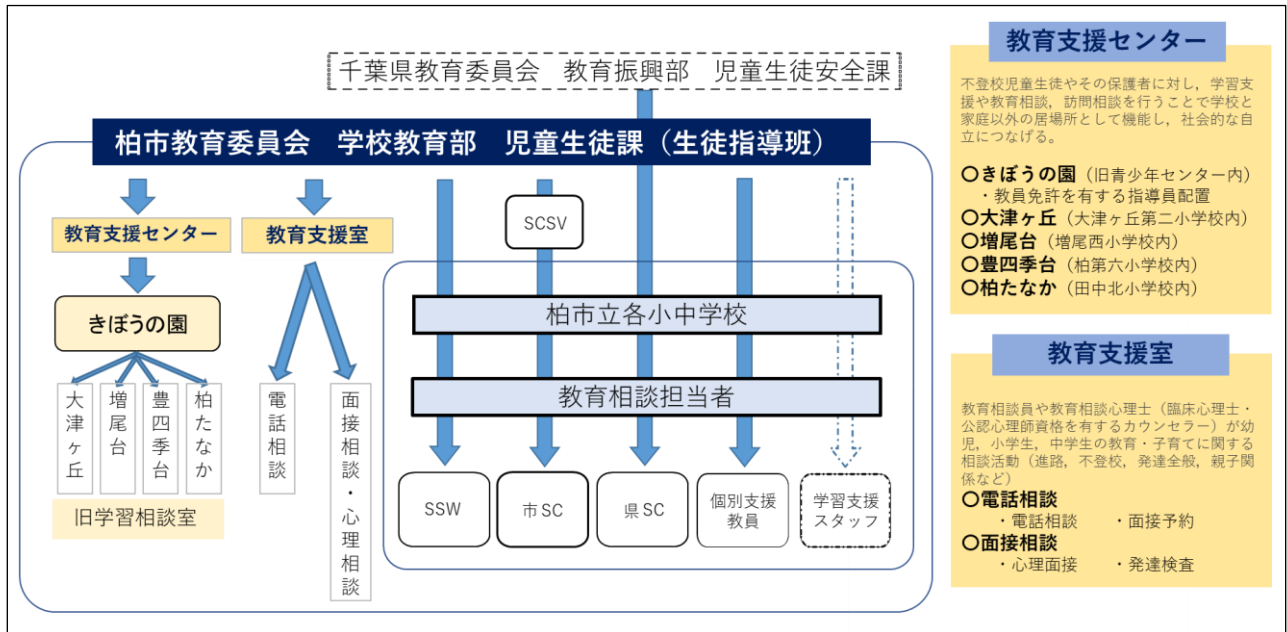
スクールソーシャルワーカーへの相談件数は、約7.8倍に増加しています。それに伴い、本市では人員体制を過去6年間で13人増員しています。SSW 1人当たりの相談件数は、47件から69件と年間約20件増加しています。

図表 資-34 スクールソーシャルワーカーへの相談件数の推移



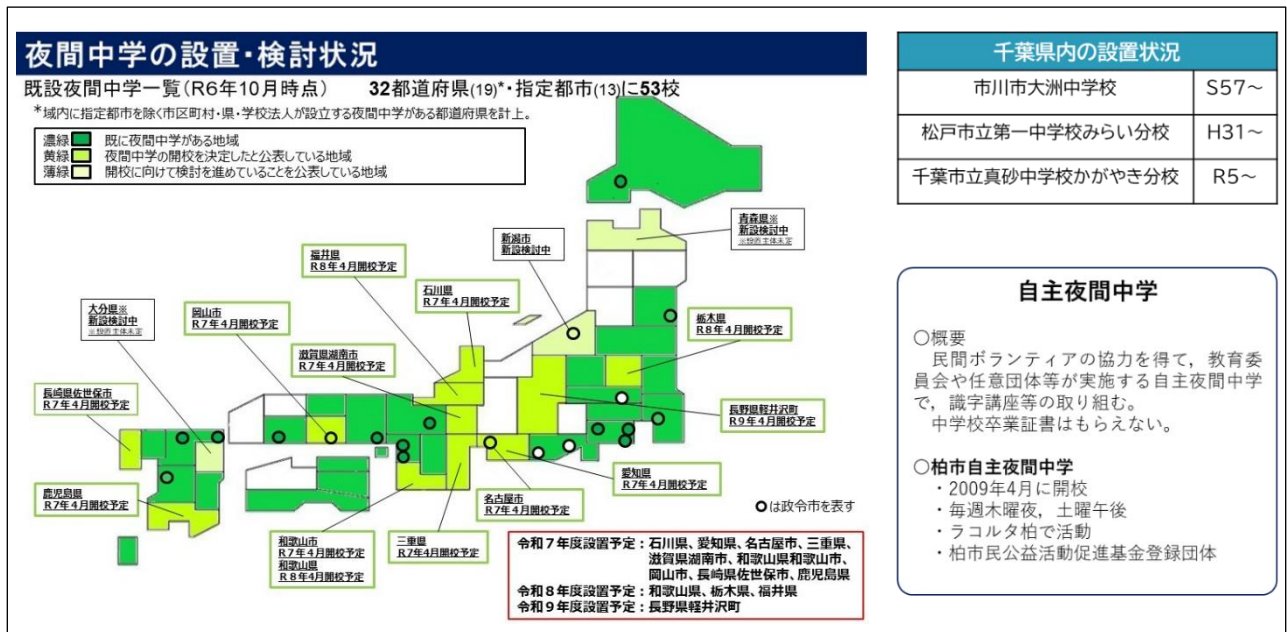
出典: 柏市教育委員会資料

図表 資-35 柏市の教育相談体制



出典：柏市教育委員会資料

図表 資-36 全国の夜間中学の設置・検討状況と自主夜間中学



出典：文部科学省「夜間中学の設置・検討状況一覧」（令和6年4月）

④子どもの居場所

1) 現状の取組

本市では、子どもの居場所についてこれまでに様々な取組を行ってきました。以下に、これまでの取組をまとめました。

取り組み

- (1) 児童センターでの中高生の居場所事業 (H17～)
 - ①しこだ児童センターで実施 (R4利用状況 計22人)
 - ②豊四季台児童センターで実施 (R4利用状況 計222人)
- (2) かしわ地域若者サポートステーション (H21～)
15歳から49歳までを対象に就労支援を実施 (R4新規登録者176人、就労決定者65人)
- (3) 学習支援事業
 - ①小中学生コース (小学4年生～中学2年生、計85人利用)
▶内容：生活習慣、意欲、コミュニケーション能力等基礎的能力の向上を図る学習の土台づくりを中心に支援
 - ②中高生等コース (中学3年生～高校3年生、計178人利用)
▶内容：「小中学生コース」での土台を生かした学力向上を中心に支援
 - ③対象は、生活保護、児童扶養手当、就学援助、ひとり親家庭等医療費等女性、遺児等養育手当のいずれかを受給する世帯の児童・生徒
- (4) 学習スペース事業
 - ①パレット柏 (座席数84席 ※平日夕方、休日は満席。高校生の利用が目立つ)
 - ②ラコルタ柏 (R5利用登録者数 1,215人 ※R4平均利用人数(実績)：平日は16人、土日は25人)
- (5) 放課後子ども教室
 - ①平日における補充学習 (H19～)
▶小学校2～3年生を中心に週1回程度、令和元年度より全校実施 (現在、平日開催は40/42校)
 - ②居場所型への移行準備として、夏休み期間に地域連携でのモデル事業を数校で実施 (R4～)
平日における居場所づくりとして『放課後子ども教室 (居場所型)』のモデル事業を高柳小で実施 (R6～)
 - ③夏休み子ども教室
▶民間団体や高校等と連携して講座を実施 (R6：60講座1,144人受講)
- (6) 柏市子ども・子育て支援複合施設 (TeToTe)
R6.12より、4階に未就学児から中学生までを対象とした「本の広場」を、5階に中高生世代を対象とした「中高生の広場」を開設



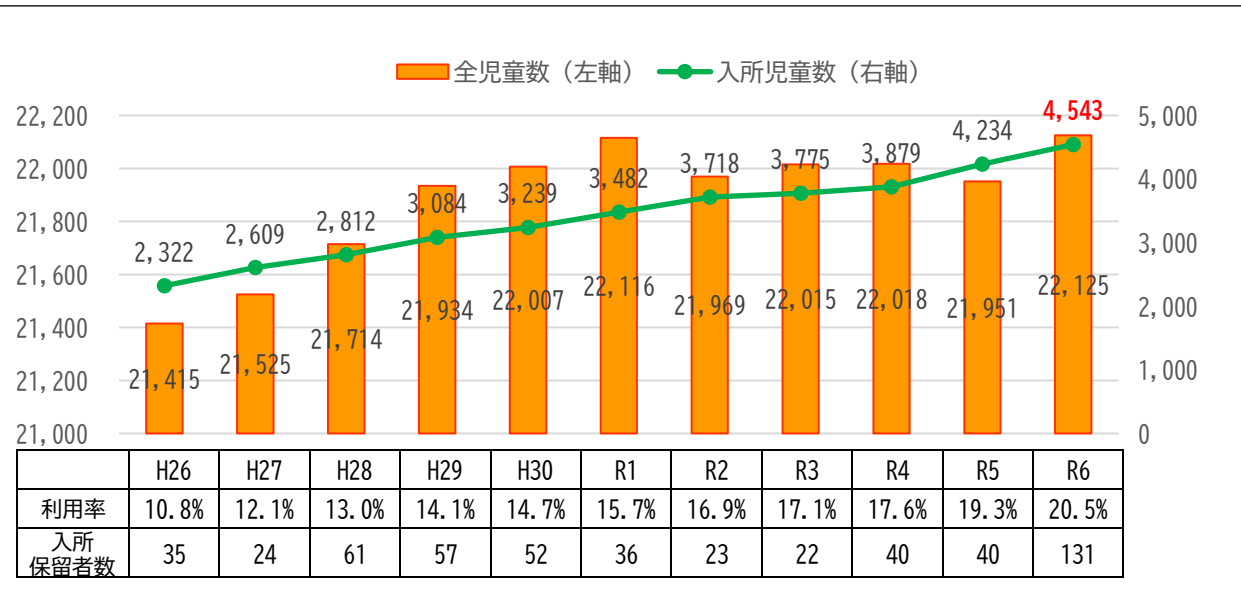
図 TeToTe内 中高生の広場

出典：柏市教育委員会資料

2) こどもルームの利用者数

市内の児童数は横ばい傾向にありますが、こどもルームの利用率は増加傾向にあります。こどもルームが増加することで、学校の教室数が不足する場合があります。-

図表 資-37 こどもルームの入所児童数の推移



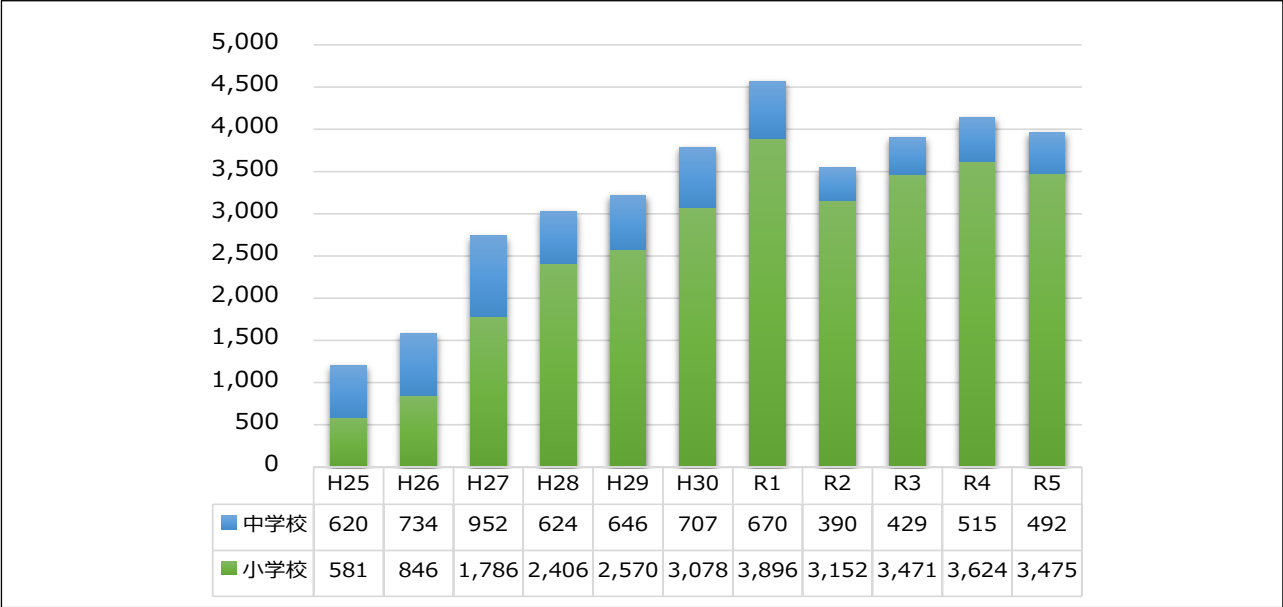
出典：柏市学童保育課調べ(各年 5 月 1 日現在)

⑤いじめ

1) いじめの認知状況と解消状況

本市のいじめの認知件数は、新型コロナウイルス感染症拡大等の要因で令和2（2020）年度に一時減少しましたが、小・中学校ともに増加傾向にあります。解消状況について、追跡調査を実施した結果、認知件数に対しての解消率は高い状況となっています。

図表 資-38 柏市内小・中学校のいじめの認知件数



出典：柏市教育委員会調べ

図表 資-39 いじめ解消状況

R4 年度末いじめ未解消状況（R5 3/31現在）

	児童生徒数	R4 年度いじめ認知件数	解消	未解消	解消率
小学校	22,018	3,624	2,415	1,209	66.6%
中学校	10,459	515	381	134	74.0%
高等学校	890	18	13	5	72.2%



R4 年度末いじめ未解消追跡調査（R5 8/31現在）

	児童生徒数	R4 年度いじめ認知件数	解消	未解消	解消率
小学校	22,018	3,624	3,575	49	98.6%
中学校	10,459	515	508	7	98.6%
高等学校	890	18	13	5	72.2%



R4 年度末いじめ未解消追跡調査（R5 12/28現在）

	児童生徒数	R4 年度いじめ認知件数	解消	未解消	解消率
小学校	22,018	3,624	3,617	7	99.8%
中学校	10,459	515	514	1	99.8%
高等学校	890	18	18	0	100.0%

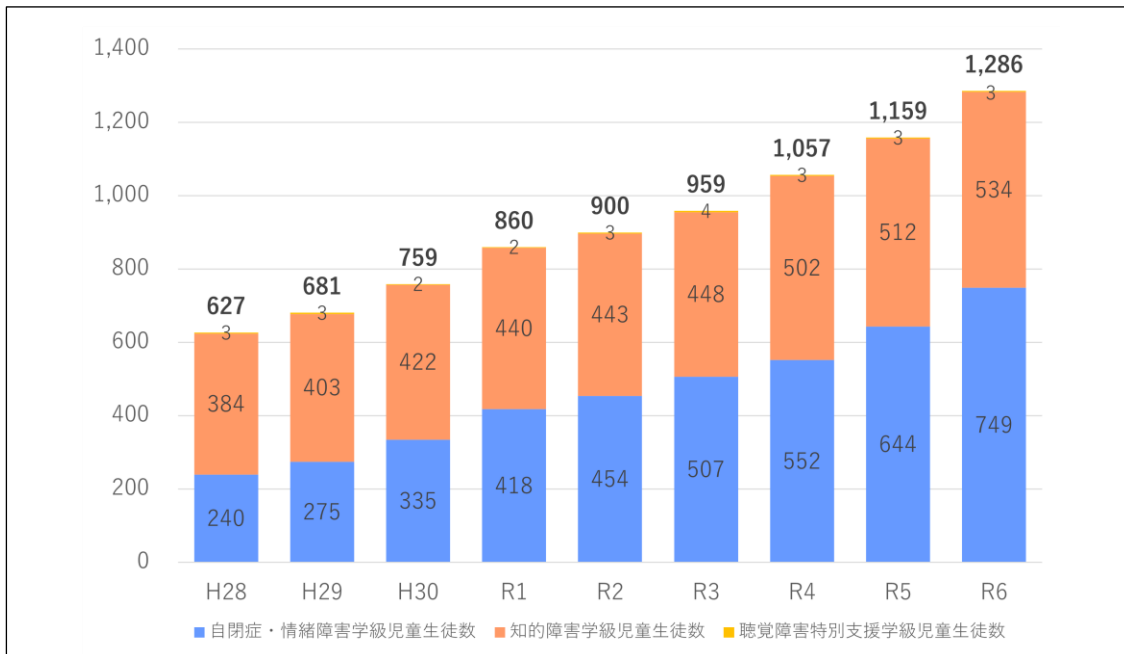
出典：柏市教育委員会「令和5年度 いじめの状況調査」

⑥特別支援教育

1) 特別支援学級

本市では、小学校40校、中学校21校に知的障害特別支援学級^(注5)を、小学校42校、中学校19校に自閉症・情緒障害特別支援学級^(注6)を、柏第三小学校に聴覚障害特別支援学級^(注7)を設置しています。本市の特別支援学級の在籍児童生徒数は、全国と同様に増加傾向となっています。

図表 資-40 特別支援学級在籍児童生徒数の推移



出典: 柏市教育委員会資料

2) 通級指導教室

通級指導教室では、通常の学級に在籍する障害のある児童生徒に、個々の課題に応じた指導を週1～2時間程度実施しています。

図表 資-41 通級指導教室の実施状況

設置教室	対象と指導内容	設置校 (R6年度)
きこえの教室 (小学生対象)	難聴のある児童を対象とし、きこえにくさから生じる困難を軽減し、学校生活における学習や諸活動に参加していくことを目指した指導・支援を行う。(週1時間程度)	柏第三小
ことばの教室 (小学生対象)	発音が明瞭でなかったり、話し言葉を繰り返したり、伸ばしたりするなど、ことばによるコミュニケーションが苦手という児童を対象とし、課題の改善を目指した指導・支援を行う。(週1時間程度)	柏第三小、柏第八小、旭小、増尾西小、逆井小、富勢西小、大津ヶ丘第一小、柏の葉小
情緒の教室	通常の学級の学習におおむね参加することができ、一部分特別な指導を必要とする児童生徒を対象とし、気持ちのコントロールのしづらさから生じる困難を解決し、在籍学級での学習や活動に参加していくことを目指した指導・支援を行う。(週1～2時間程度)	中原小、十余二小、土中

出典: 柏市教育委員会資料

^(注5) 知的障害特別支援学級：日常生活において使用される言葉を活用しての会話や身近な日常生活動作にはほとんど支障がない児童生徒を対象に、実際の生活場面に即しながら、繰り返して学習することにより、必要な知識や技能等を身に付けられるようにする継続的、段階的な指導を行う学級

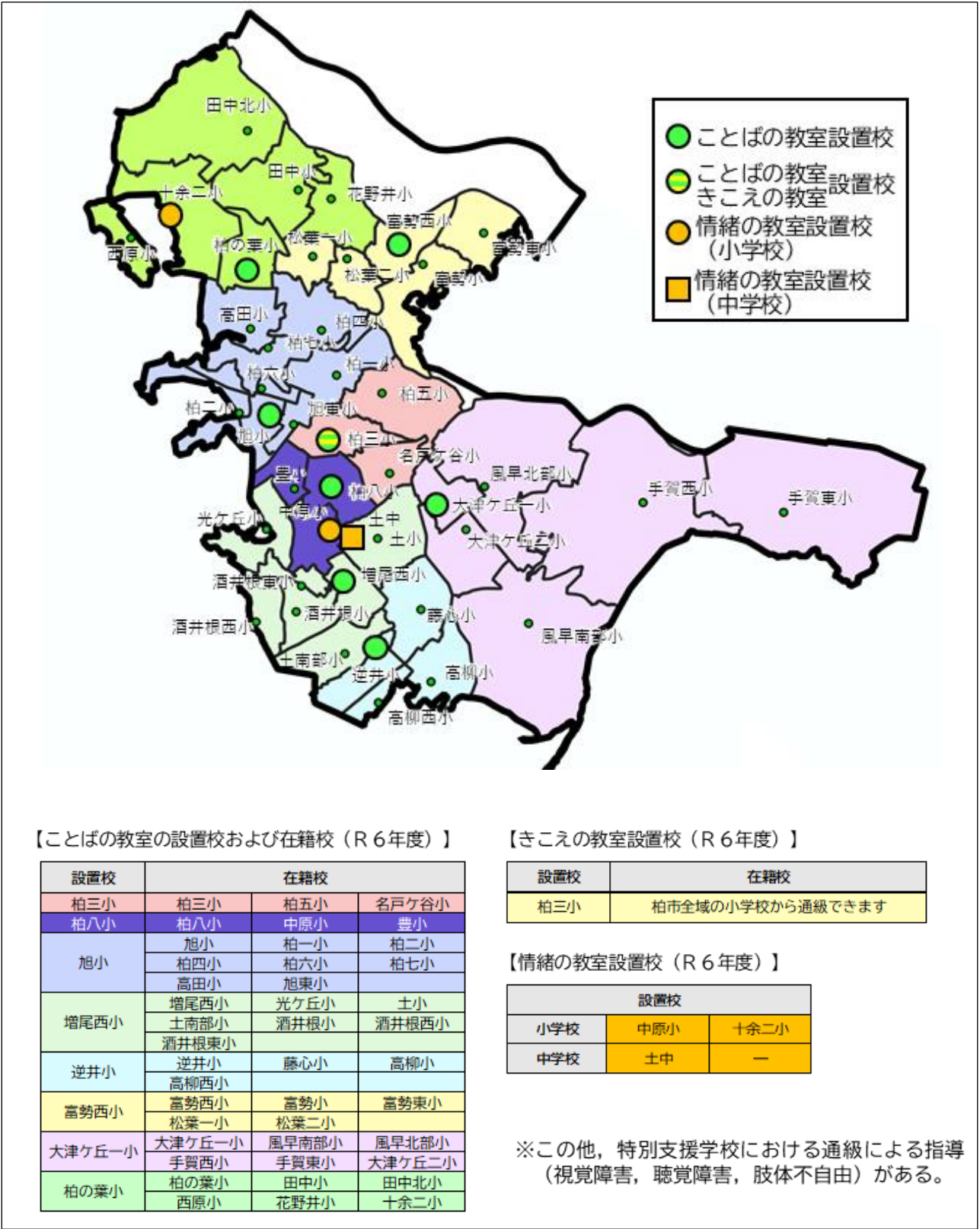
^(注6) 自閉症・情緒障害特別支援学級：自閉症やそれに類するものや心理的な要因による選択性かん黙等がある児童生徒を対象に、情緒的に不安定になってしまった際に、具体的な方法を通して落ち着きを取り戻すことができるよう、児童生徒一人一人の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を検討し、適切な指導を行う学級。

^(注7) 聴覚障害特別支援学級：補聴器等の使用によっても通常の話を解することが困難な児童生徒を対象に、一人一人の障害の状態等に応じ、聴覚活用に関する指導や音声の受容と表出に関する指導を行う学級

この他に、特別支援学校における通級による指導（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由）も実施しています。

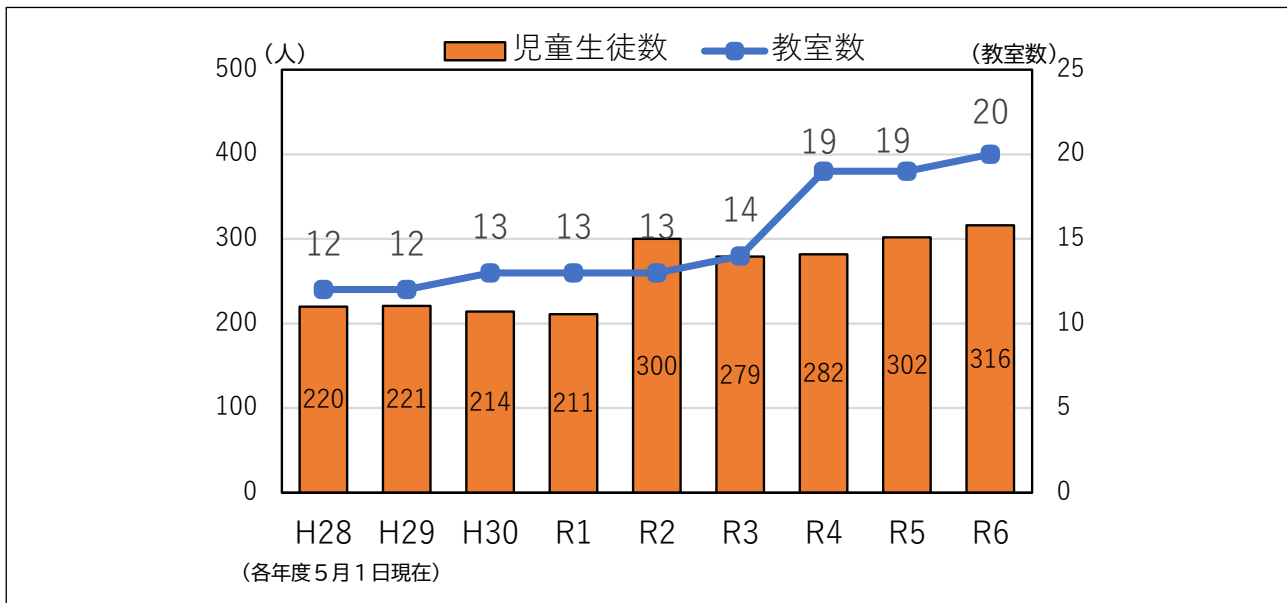
本市の通級による指導を受けている児童生徒数は全国と同様、増加しております。

図表 資-42 通級指導教室の実施状況



出典: 柏市教育委員会資料

図表 資-43 通級指導教室数と児童生徒数の推移



出典: 柏市教育委員会資料

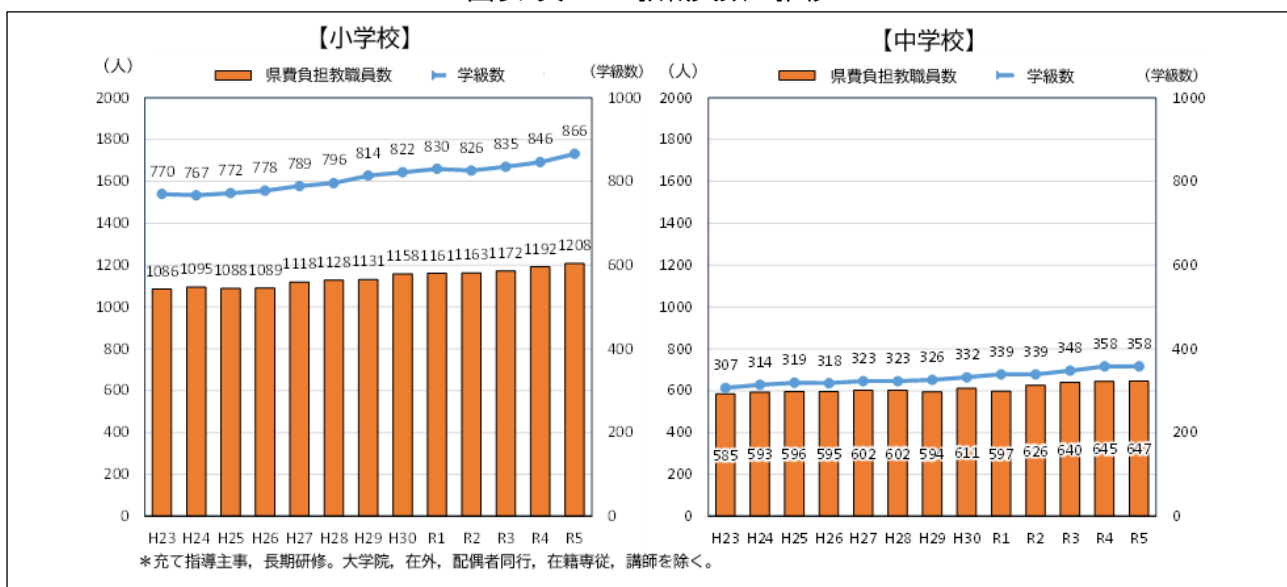
⑦教職員の多忙化

1) 教職員の現状

ア 教職員数

本市の教職員数は、令和6（2024）年度で小学校が1,230人、中学校が644人となっています。段階的な35人学級への移行や、特別支援学級在籍児童生徒数の増加に伴い、学級数は増加傾向にあるため、それに伴い教職員数も増加傾向にあります。

図表 資-44 教職員数の推移



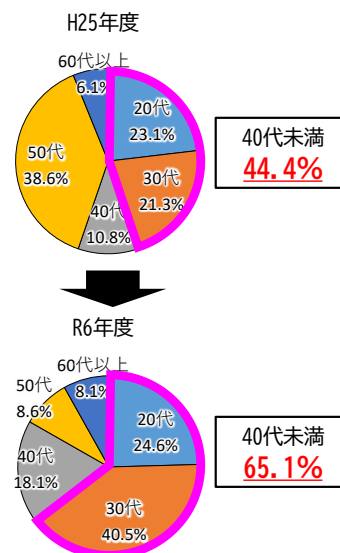
出典: 柏市教育委員会資料「教職員数・年齢等調査」

イ 教職員の年齢構成

令和6（2024）年度における教員の年齢は、40歳未満の教員が全体の6割（65.1%）を占め、年齢層に偏りのある状況になっています。このような状況から、教育技術の伝達が難しく、人材育成が課題となっています。また、短い経験年数で責任のある立場を任される教員が増えており、負担感も増大しています。

図表 資-45 教職員数の年齢構成（教諭のみ）

区分	H25年度		R6年度	
	人数	割合（%）	人数	割合（%）
20～24歳	57	4.1	121	7.7
25～29歳	267	19.1	266	16.9
30～34歳	215	15.3	327	20.7
35～39歳	84	6.0	312	19.8
40～44歳	50	3.6	196	12.4
45～49歳	101	7.2	90	5.7
50～54歳	219	15.6	58	3.7
55～60歳	322	23.0	78	4.9
61歳～	86	6.1	128	8.1
合計	1,401		1,576	

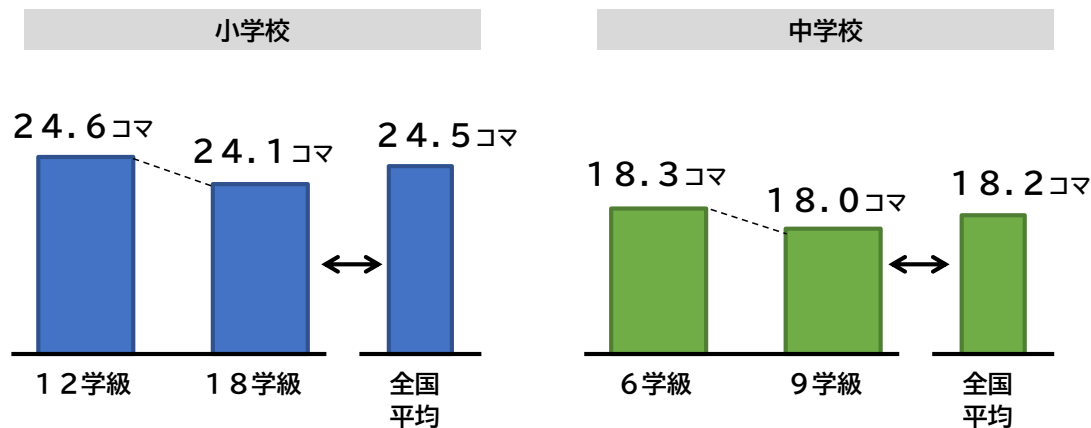


出典：柏市教育委員会資料「教職員数・年齢等調査」

ウ 教員1人当たりの平均担当授業時数（週）

教員1人当たりの平均授業時間数は、小規模校では配置教員が少なくなることもあり、1人当たりの授業時数が多くなる傾向にあります。

図表 資-46 教員1人当たりの平均担当授業時間数



※1：332コマ/週÷13.5人（教員定数）＝24.6コマ
 ※2：498コマ/週÷20.6人（教員定数）＝24.1コマ
 ※3：平成28年度学校教員統計調査

※4：174コマ/週÷9.5人（教員定数）＝18.3コマ
 ※5：261コマ/週÷14.5人（教員定数）＝18.0コマ
 ※6：平成28年度学校教員統計調査

出典：柏市教育委員会資料

2) 教職員の勤務について

ア 教職員の超過勤務について

教職員の月45時間を超える時間外労働割合は、令和6（2024）年度において、小学校教員の40.52%，中学校教員の47.53%となっており、前年度より減少し、5割以下となっています。

図表 資-47 在校等時間4 5時間超の割合（令和6年度と令和5年度の同月比較（6月））

対象年月	対象月	4 5時間超の割合（%）*管理職を除く	
		小学校教員等*	中学校教員等*
令和5年度	6月	48.44	50.54
令和6年度	6月	40.52	47.53
前年比		-7.92	-3.01

出典：柏市教育委員会資料

図表 資-48 在校等時間4 5時間超の割合（国・県・市平均）

対象	4 5時間超の割合（%）*管理職を除く	
	小学校教員等*	中学校教員等*
国平均	64.5	77.1
県平均	39.9	53.7
市平均	41.0	46.2

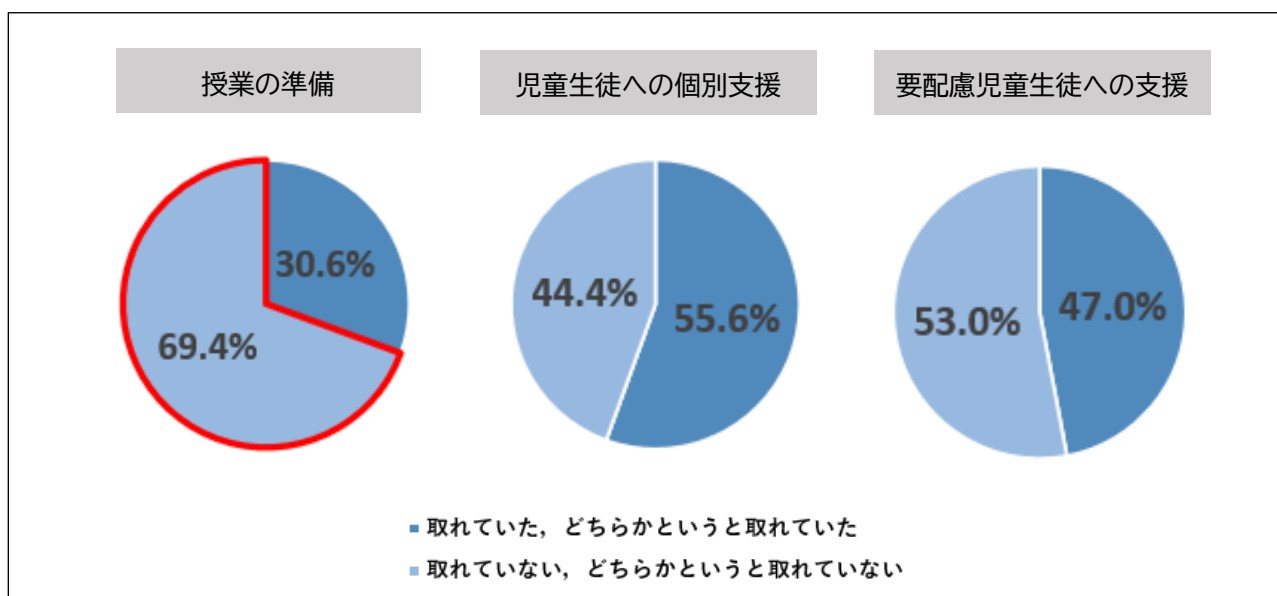
出典：国 平均：文部科学省「教員勤務実態調査」（令和4年11月分調査）

県・市平均：柏市教育委員会資料（令和5年11月）

イ 教職員の子どもに向き合う時間について

令和5（2023）年度働き方に関する調査によると、教職員の約7割が授業の準備について勤務時間内に時間が取れていないと回答しています。

図表 資-49 教職員の子どもに向き合う時間



出典：柏市教育委員会資料

⑧学力・学習状況

1）柏市学力・学習状況調査の結果について（教科）

本市では児童生徒の学力・学習状況を把握し、各学校における学習指導及び生徒指導等の改善並びに教育委員会の施策・事業の改善等に資する目的で、学力・学習状況調査を毎年実施しています（令和6年度より小学校は学力調査と生活・学習意識調査を実施。中学校は生活・学習意識調査のみ実施）。

調査結果を柏市平均正答率と全国平均正答率の差で評価基準表^(注8)に照らし合わせ比較すると、中学生は数学でやや上回り、理科はほぼ同等の結果となりました。一方で小学生は、4年生までの算数でやや下回る結果となり、更に応用では下回る結果となる学年もありました。本市では本調査結果をもとに、2～4年生を中心に算数支援推進事業^(注9)を進めているところです。

国語は、柏市平均正答率と全国平均正答率の差を評価基準表に照らし合わせたところ、ほぼ同等となる学年が多い結果となりましたが、応用問題ではやや下回る学年もありました。英語は、中学1年生、2年生とも上回る結果となっています。

なお、令和6（2024）年度より小学校のみ学力調査を実施します。中学校は学力調査がなくなり、生活・学習意識調査のみになります。

図表 資-50 柏市学力・学習状況調査結果（令和5年度）

国語	教科総合	基礎	応用
小1	≒	≒	≒
小2	≒	≒	≒
小3	≒	≒	≒
小4	≒	≒	≒
小5	≒	≒	▽
小6	≒	≒	≒
中1	≒	≒	▽
中2	≒	≒	≒
算数・数学	教科総合	基礎	応用
小1	▽	≒	▼
小2	≒	≒	▽
小3	▽	▽	▽
小4	▽	▽	▽
小5	≒	▽	≒
小6	≒	≒	≒
中1	≒	≒	≒
中2	○	○	≒

理科	教科総合	基礎	応用
中1	≒	≒	≒
中2	≒	≒	≒
英語	教科総合	基礎	応用
中1	○	○	◎
中2	○	○	○

＜評価基準＞		
記号	意味	全国値との差
◎	上回る	4.0以上
○	やや上回る	2.1 ～ 3.9
≒	ほぼ同等	-2 ～ 2
▽	やや下回る	-3.9 ～ -2.1
▼	下回る	-4.0以下

出典：令和5年度柏市学力・学習状況調査 結果報告

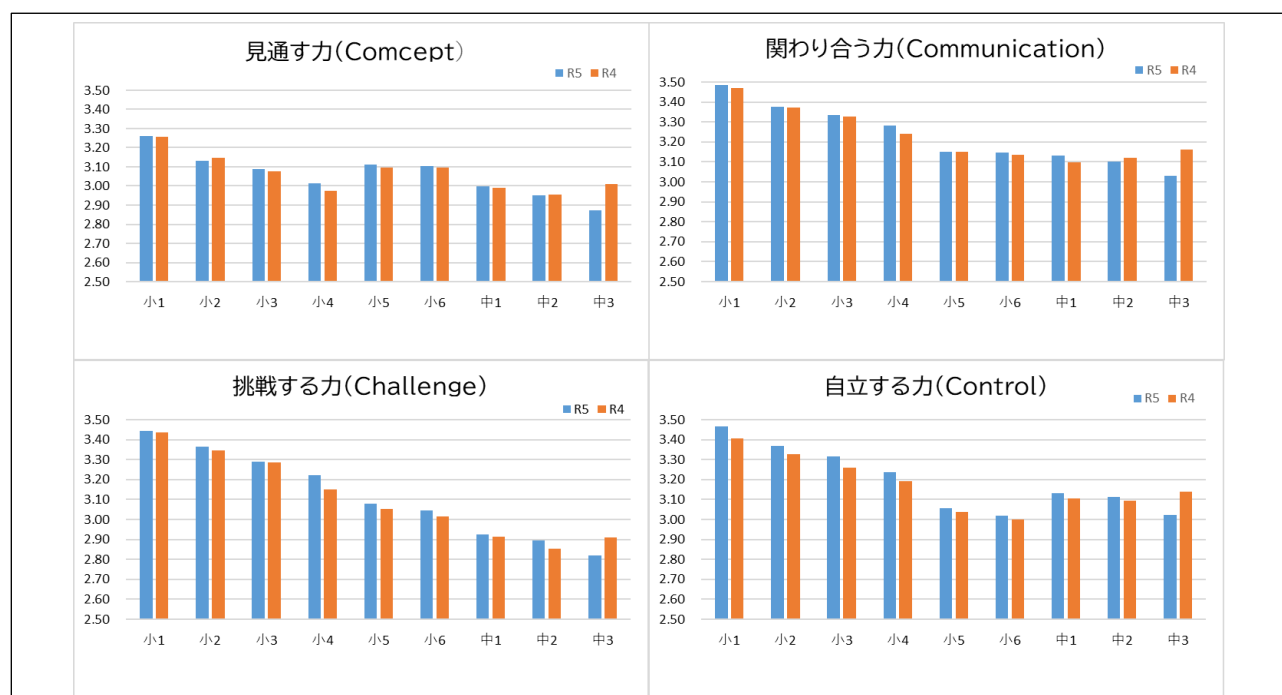
(注8) 評価基準表：柏市平均正答率と全国平均正答率の差を比較するための基準

(注9) 算数支援推進事業：児童の学ぶ意欲の向上のため、算数科における児童のつまづき解消を目指し、担任と協働で児童への指導・支援を行うために算数支援教員を配置（令和6年度は、小学校14校に14名が配置）

2) 子どもたちに身に付けさせたい4つの力

本市教育委員会では、第2次柏市教育振興計画を受け、本市の子どもたちに身に付けさせたい力を「4つのC」として示し、「柏市学力・学習状況調査」において、この「4つのC」から児童生徒の現状を毎年度把握し、目指す姿に向けて各種取組を進めています。4つの力の調査結果について、令和4（2022）年度と令和5（2023）年度を比較すると、挑戦する力、自立する力については、ほぼ全ての学年で令和5（2023）年度の数値が高くなっています。

図表 資-51 子どもたちに身に付けさせたい4つの力の調査結果（令和4年度と5年度の比較）



出典:令和4,5年度柏市学力・学習状況調査 結果報告

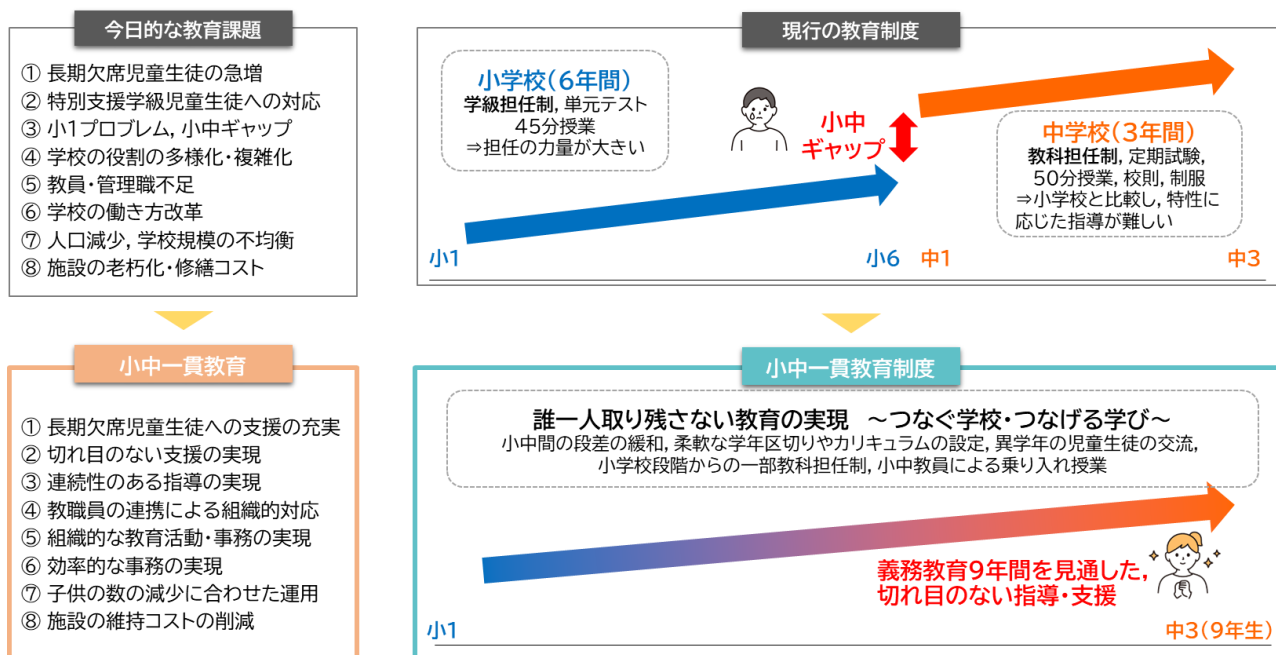
図表 資-52 子どもたちに身に付けさせたい4つの力（柏市教育振興計画）

4つの力 (C)	見出し	項目
見通す力 (Concept)	夢・目標	将来の夢や目標を持つことができる。
	計画	物事に取り組むときに、計画を立てることができる。
	振り返り	学んだ結果、よく分かったこと、あまり分からなかったことを整理することができる。
	分かる努力	分からなかったことを友達や先生に聞いたり、調べたりすることができる。
	改善	物事に取り組んだ時に、どうすればもっと良くできるか考えることができる。
挑戦する力 (Challenge)	目標への努力	夢や目標に向かって、近づくための努力をすることができる。
	粘り強さ	諦めずに粘り強く取り組むことができる。
	挑戦	失敗を恐れずに挑戦することができる。
関わり合う力 (Communication)	相手の立場に立って考える力	自分が相手の立場だったら、どう思うかと想像することができる。
	思いやり	誰に対しても、温かい心で接することができる。
	伝える力	友達に自分の考え・意見を説明することができる。
	傾聴	話し合い活動の際に、他人の意見を最後まで聞くことができる。
	相談する力	悩んでいることや心配していることを、先生、友達、保護者などに相談することができる。
	協働	自分だけでは解決できない問題について、友達や先生の助けを求めて、一緒に取り組むことができる。
	地域との関わり	自分が学んだことを、自分が住んでいる地域や社会の問題解決に役立てようとするすることができる。
自立する力 (Control)	主体性	課題に自ら取り組むことができる。
	自己肯定感	自分の長所・短所を含め、自分自身を認めることができる。
	規範意識	ルールが必要となる理由や、なぜ守らなければいけないかを考えることができる。

3) 小中連携教育から小中一貫教育へ

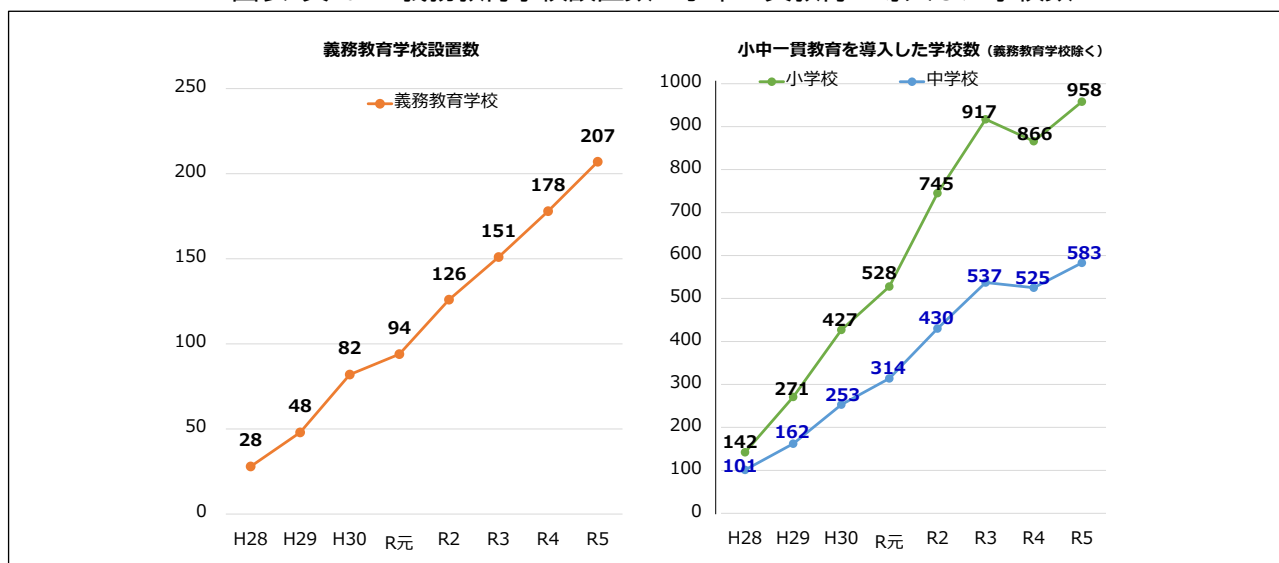
本市では、「小1プロブレム」「小中ギャップ」の解消・緩和を目指し、幼保こ小の円滑な接続や、小中学校での連携教育について進めてきました。誰一人取り残さない教育を実現するため、全市的な小中一貫教育を進めていくことで、子どもたちにとってよりよい学びを深めていくとともに、学校が抱えているさまざまな課題の解消につなげていきます。これまで以上に小中学校間の連携を深め、小中連携教育から小中一貫教育へ推進していきます。

図表 資-53 現行の教育制度と小中一貫教育制度



出典: 柏市教育委員会資料

図表 資-54 義務教育学校設置数と小中一貫教育を導入した学校数



出典: 文部科学省「学校基本調査」

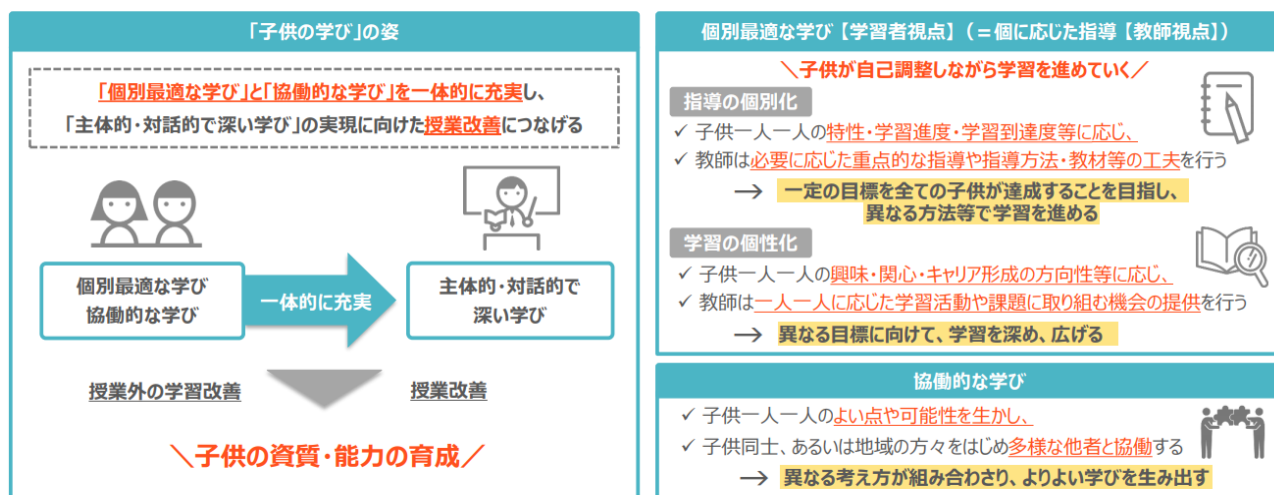
4) 令和の日本型学校教育への対応

新しい学びに対応し、子どもたちが自ら学び続ける力を育成するためにも、これまで本市で取り組んできた学びをさらにアップデートさせていくことが求められています。

GIGA スクール構想における一人一台端末の活用や、文部科学省が掲げる「令和の日本型学校教育」を実現するための「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させていくことで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりを進めています。

また、認知能力のみならず、学校の状況を4つのCを指標にして分析し、非認知能力の育成を図っています。

図表 資-55 個別最適な学び・協働的な学びのイメージ



出典：中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）【総論解説】

図表 資-56 各試験団体のデータによる CEFR との対照表

CEFR	Cambridge English	英検	GTEC CBT	GTEC for STUDENTS	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEFL Junior Comprehensive	TOEIC / TOEIC S&W
C2	CPE (200+)				8.5-9.0					
C1	CAE (180-199)	1級 (2630-3400)	1400		7.0-8.0	400	800	95-120		1305-1390 L&R 945~ S&W 360~
B2	FCE (160-179)	準1級 (2304-3000)	1250-1399	980 L&R&W 810	5.5-6.5	334-399	600-795	72-94	341-352	1095-1300 L&R 785~ S&W 310~
B1	PET (140-159)	2級 (1980-2600)	1000-1249	815-979 L&R&W 675-809	4.0-5.0	226-333	420-595	42-71	322-340	790-1090 L&R 550~ S&W 240~
A2	KET (120-139)	準2級 (1284-1800)	700-999	565-814 L&R&W 485-674	3.0	150-225	235-415		300-321	385-785 L&R 225~ S&W 160~
A1		3級-5級 (419-1650)	-699	-564 L&R&W -484	2.0					200-380 L&R 120~ S&W 80~

出典：文部科学省「各試験団体のデータによる CEFR との対照表」

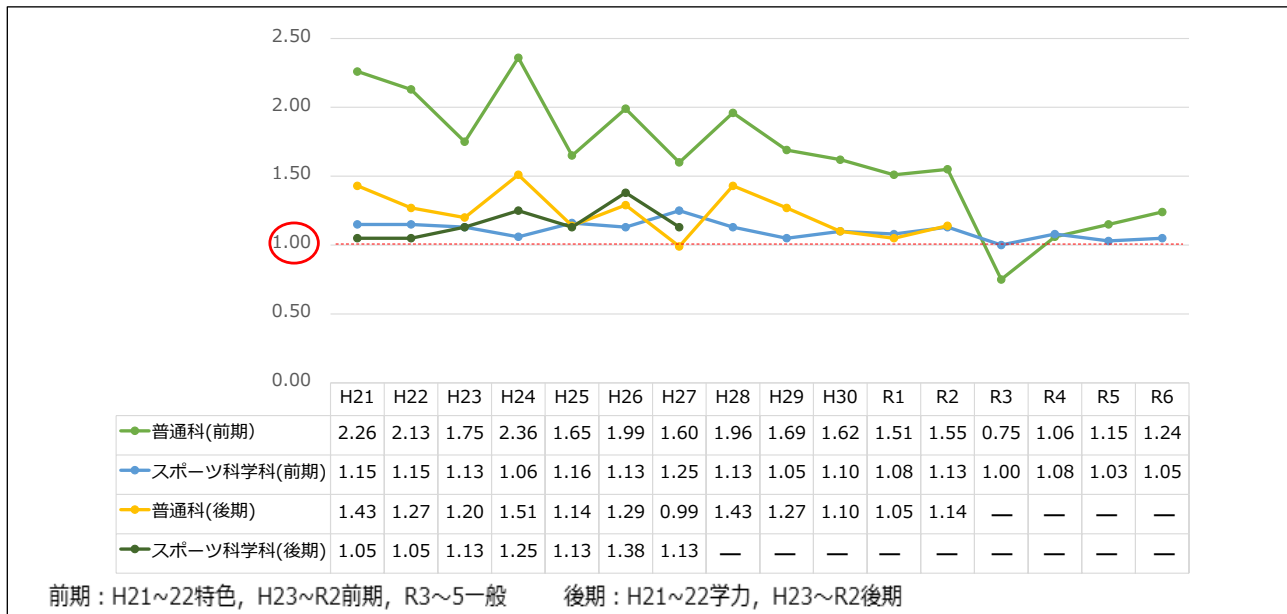
⑨市立柏高等学校

1) 入学選抜志願者の状況（推移）

市立柏高等学校の入学選抜志願者の状況をみると、普通科の志願者は減少傾向でしたが、近年は増加傾向にあります。スポーツ科学科の志願者は、横ばい傾向にあります。

市立柏高等学校の倍率の推移をみると、普通科の倍率は、千葉県内の市立高等学校に比べ倍率が特に低いということではなく、スポーツ科学科とともに定員を維持しています。

図表 資-57 市立柏高等学校の入学選抜志願者の状況（推移）



出典：柏市教育委員会資料

図表 資-58 千葉県内における市立高等学校の倍率の推移

高校名	学科名	偏差値	R2前期	R2後期	R3	R4	R5	R6
千葉	普通科	71	2.70	1.98	1.49	1.58	1.71	1.52
	理数科	73	2.70	2.40	1.50	1.50	1.73	1.78
稲毛	普通科	67	2.16	1.69	1.41	1.38	1.32	1.13
	国際教養科	66	2.03	2.10	1.23	1.78	0.98	1.40
習志野	普通科	56	1.72	1.14	1.11	1.27	1.10	1.22
	商業科	50	1.78	2.00	1.33	1.38	1.25	1.51
船橋	普通科	52	1.84	1.59	1.00	1.27	1.28	1.19
	商業科	47	1.93	—	1.18	1.31	1.43	1.34
	体育科	43	1.01	—	1.05	1.09	1.08	1.03
松戸	普通科	49	2.53	1.64	1.23	1.44	1.65	1.63
	国際人文科	53	1.85	—	1.23	1.13	1.28	1.53
柏	普通科	48	1.55	1.21	0.76	1.06	1.15	1.24
	スポーツ科学科	43	1.13	—	1.00	1.08	1.03	1.05
銚子	普通科・理数科	データなし	1.60	0.95	0.97	1.06	0.97	1.06

「—」：募集なし

※令和3年度で入学試験制度変更



前年度より増加



前年度より減少



前年度と同等（±0.05以内）

出典：千葉県 HP「一般入学者選抜等の志願者確定数

（特別入学者選抜及び地域連携アクティブスクールの入学者選抜を含む）」

偏差値出典：みんなの高校情報千葉